

年 報 ・ 紀 要

令和 4 年度

半田市立博物館

目 次

年 報

1. 施設概要	2
2. 組織図	3
3. 半田市博物館協議会	
(1) 協議会委員	4
(2) 協議会日程	4
4. 展示活動	
(1) 企画展示	5
(2) その他の展示	15
(3) 山車展示	15
5. 教育普及活動	
(1) 博物館講座・講演会等	16
(2) 視察及び見学	16
(3) 半田市内小学校3年生の見学学習	17
6. 資料の収集・整理・保存	
(1) 刊行物の寄贈	18
(2) 資料寄贈	19
(3) 収蔵資料点数	20
7. 半田市立博物館友の会活動	21
8. 文化財保護事業	
(1) 文化財専門委員会	21
(2) 文化財の保護	21
(3) 保存修理・保存施設整備補助事業	24
(4) 旧中埜家住宅保存管理事業・保存活用事業	25
9. 入館者数	26

1. 施設概要

【所在地】 半田市桐ヶ丘4-209-1

【開館】 昭和59年10月1日

【敷地面積】 10,318.40 m² 【建築面積】 3,425.27 m²

【延床面積】 5,151.48 m² 【博物館】 1,881.50 m²

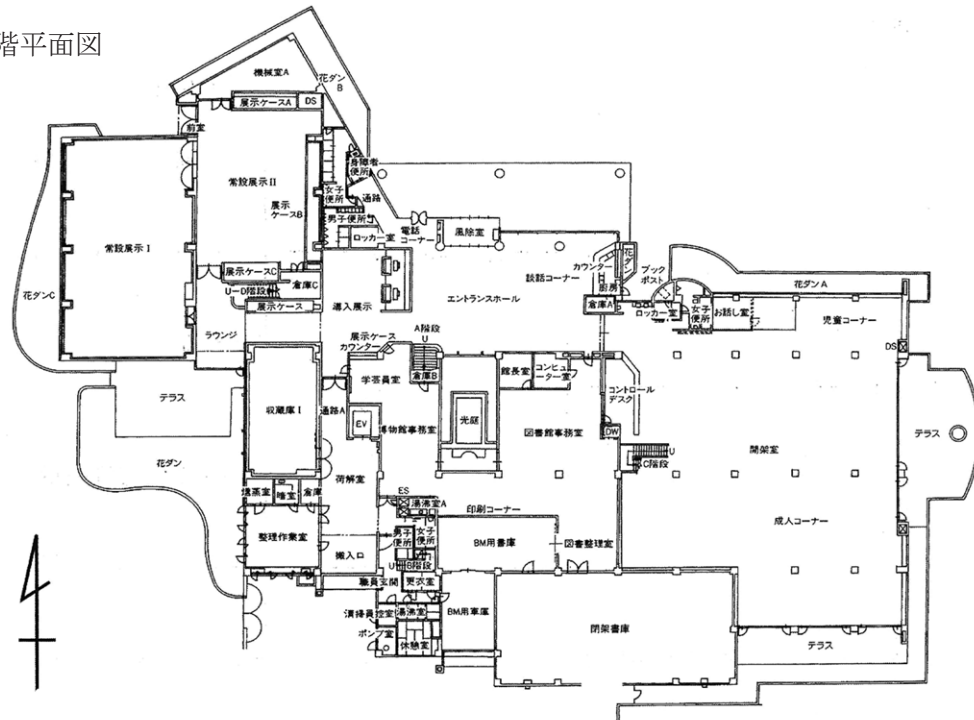
【構造】 鉄筋コンクリート造 2階建 塔屋1階

【館内施設】 (図書館との共有部分を含む)

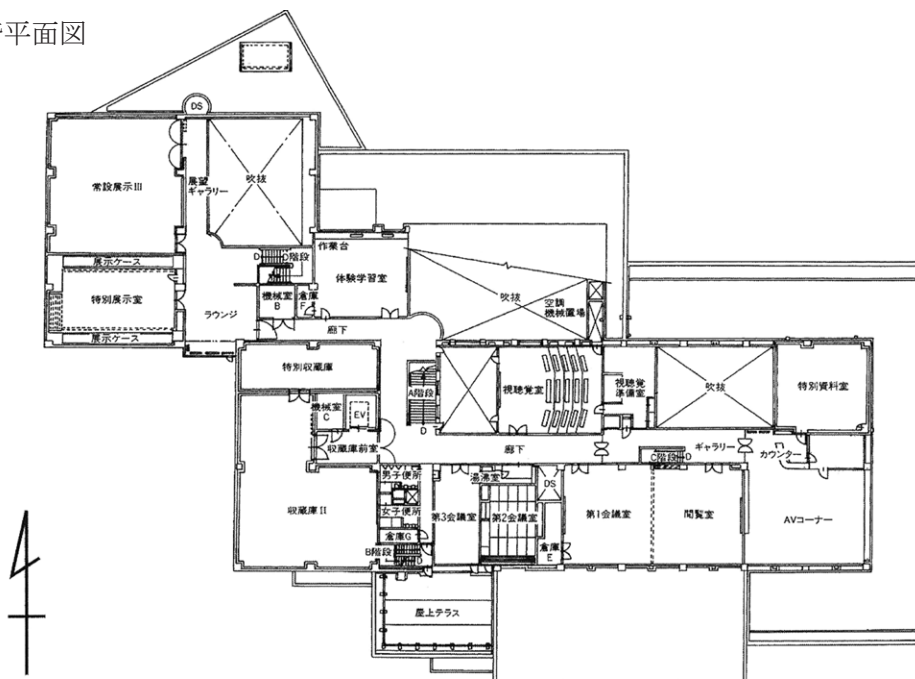
1階 常設展示室Ⅰ、常設展示室Ⅱ、収蔵庫Ⅰ、燻蒸室、整理作業室、事務室など

2階 常設展示室Ⅲ、特別展示室、体験学習室、特別収蔵庫、収蔵庫Ⅱ、視聴覚室など

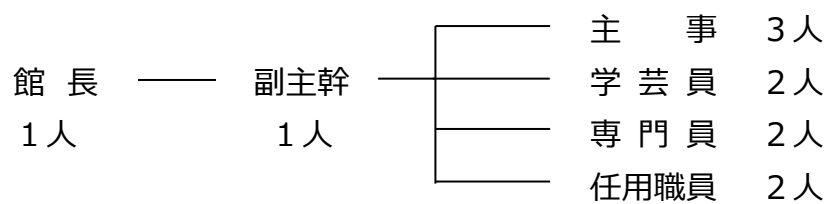
1階平面図



2階平面図



2. 組織図（令和4年4月1日現在）



職種別内訳

職名 補職名	主事	学芸員	専門員	会計年度 任用職員	合計
課（館）長	1人				1人
副主幹	1人				1人
主事	3人				3人
学芸員		2人			2人
専門員			2人		2人
会計年度 任用職員				2人	2人
合計	5人	2人	2人	2人	11人

3. 半田市博物館協議会

半田市博物館協議会は、博物館法第 20 条の規定により設置され、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。

半田市立博物館条例第 11 条の規定に基づき、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験者の中から教育委員会が任命する。（定員 10 人、任期 2 年）

（1）協議会委員（令和 4 年 9 月 1 日）

氏 名	分 野	摘 要
井手 満枝	社会教育関係者	博物館友の会会長
佐野 景子	学識経験者	桐塑人形作家
柴垣 勇夫	学識経験者	元愛知淑徳大学教授
立松 彰	学識経験者	東海市立平洲記念館・郷土資料館前館長
藤堂 正喜	学校教育関係者	半田市小中学校社会科研究部長
新美 玲子	家庭教育の向上に資する活動を行う者	伝統文化お茶お花子ども教室主催
本美 信一	社会教育関係者	半田市文化協会理事
松見 直美	観光振興関係者	知多半島観光圏協議会事業推進事務所前所長

（2）協議会日程

日 程：令和 5 年 3 月 24 日（金）

会 場：半田市立博物館 第 3 会議室

議 題：・令和 4 年度事業等報告並びに令和 5 年度事業計画及び予算について

・企画展「新収蔵品展」について

4. 展示活動

(1) 企画展示

「第37回 知多工芸展」

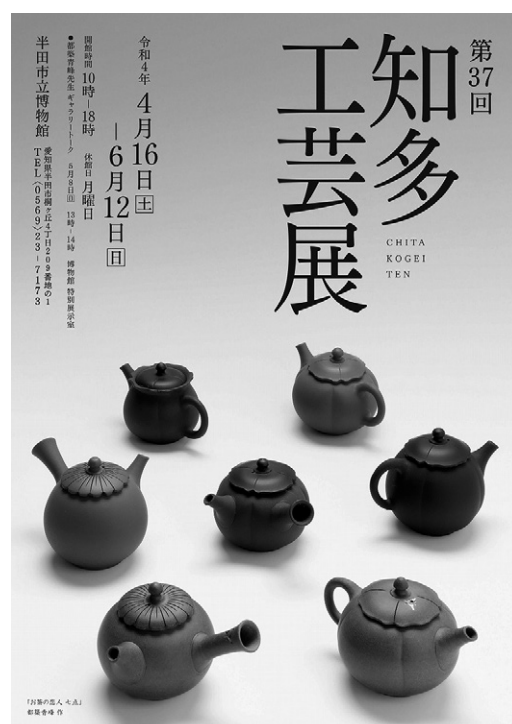
期 間：令和4年4月16日（土）～6月12日（日）

会 場：特別展示室（2階）、展示コーナー（1階）

入場者数：9,777人

展示内容：知多半島の工芸作家（陶芸・人形・染織・ガラス
工芸）26名の作品を展示した。

展示点数：30点



出品作品一覧

部 門	氏 名	作 品 名
陶 芸	伊藤 雄志	練込大鉢
	片岡 誠	自然釉花生
	加藤 真美	フロスト釉花器
	鯉江 廣	あけぼの彩茶注三趣
	小西 洋平	真焼茶注
	柴田 正明	飛翔する思考 A / 飛翔する思考 B
	清水 北條	梨皮朱泥茶鉢 / 焼締南蛮急須
	杉江 幸治	自然釉四方花器
	竹内 孝一郎	灰釉大鉢
	谷川 省三	馬上杯 黄瓷・孔雀・藍青
	谷川 仁	梨皮茶鉢
	都築 青峰	お茶の恋人 七点
	富本 敏裕	花入れ
	水上 勝夫	灰被窯変花器
	水野 真澄	絆
	村越 風月	常滑茶注三趣
	四代 山田 常山	常滑「花入」
	山田 想	常滑茶碗
	山田 孝藏	彩陶器
	山本 淳平	Wonderful world
人 形	小林 佳子	神庭
	佐野 景子	緑香
ガラス工芸	平岡 和広	大地のツイート
染 織	小林 佐智子	風通織木綿着物「祭唄の余韻」
	杉浦 雅子	紬織着物「雫」
	二宮 祐子	華

企画展「知多半島の化石」

期 間：令和4年6月25日(土)～9月4日(日)

会 場：特別展示室（2階）、展示コーナー（1階）

入場者数：24,155人

展示内容：師崎層群から見つかった深海生物の化石群を中心に、知多半島の化石や地質を紹介した。

展示点数：約150点



展示資料一覧

師崎層群の化石（新生代新第三紀中新世）			55	ハダカイワシの一種	東海化石研究会	102	タナイカシ	豊橋市自然史博物館
No.	和 名	所 蔵	56	ハダカイワシの一種	東海化石研究会	103	タナイカシ	豊橋市自然史博物館
1	タヌキブンク属の一種	半田市立博物館	57	ハダカイワシの一種	東海化石研究会	104	(黄) タナイカシ (赤) ヤナギ属の一種	豊橋市自然史博物館
2	ザバの一種（※昨年の発掘調査で採集）	名古屋大学博物館	58	ミドバダカ	東海化石研究会	105	(黄) タナイカシ (赤) ヤナギ属の一種	豊橋市自然史博物館
3	トカゲギス（※昨年の発掘調査で採集）	名古屋大学博物館	59	ミドバダカ	東海化石研究会	106	ウリノキ属の一種	豊橋市自然史博物館
4	タチモドキ（※昨年の発掘調査で採集）	名古屋大学博物館	60	ミドバダカ	東海化石研究会	107	ウリノキ属の一種	豊橋市自然史博物館
5	ハダカイワシの一種（※昨年の発掘調査で採集）	名古屋大学博物館	61	生痕化石	半田市立博物館	108	ササに似た葉	豊橋市自然史博物館
6	ヒガシホウライエソ（※昨年の発掘調査で採集）	名古屋大学博物館	62	生痕化石	半田市立博物館	109	ヤナギ属の一種	豊橋市自然史博物館
7	ハダカイワシの一種	半田高校自然科学部	佐久島の化石（師崎層群：新生代新第三紀中新世）			110	ヒシの仲間	豊橋市自然史博物館
8	ウキエソの一種	半田高校自然科学部				111	ヒシの仲間	豊橋市自然史博物館
9	腕足類の化石	半田高校自然科学部				112	植物の種子	豊橋市自然史博物館
10	クモヒトデの一種	半田高校自然科学部	63	シオガマフミガイ	西尾市教育委員会	113	木片・植物片	豊橋市自然史博物館
11	タヌキブンク属の一種	半田高校自然科学部	64	ダイオウシラトリガイ	西尾市教育委員会	114	コハク	豊橋市自然史博物館
12	チタスナモグリ	半田高校自然科学部	65	キリガイダマシ	西尾市教育委員会	115	高師小僧	半田市立博物館
13	二枚貝の化石	半田高校自然科学部	66	イズラシラトリガイ	西尾市教育委員会	野間層の化石（新生代第四紀更新世）		
14	巻貝の化石	半田高校自然科学部	67	ヘナタリ	西尾市教育委員会			
15	ベッカミニシキ	東海化石研究会	68	フナクイムシ	西尾市教育委員会			
16	チジワバイ	東海化石研究会	69	ムカシブンク属の一種	西尾市教育委員会	No.	和 名	所 蔵
17	ユナガヤソデガイ	東海化石研究会	70	モミジガイ属の一種	西尾市教育委員会	116	ブラウンスイシカガイ	豊橋市自然史博物館
18	オオハネガイ	東海化石研究会	71	マツ類の球果	西尾市教育委員会	117	トリガイ	豊橋市自然史博物館
19	ミノアツリア	瑞浪市化石博物館	72	生痕化石	西尾市教育委員会	118	トリガイ	豊橋市自然史博物館
20	ミズノテングエビ	東海化石研究会	73	コタイアマモの一種	西尾市教育委員会	119	カガミガイ	豊橋市自然史博物館
21	ミズノテングエビ	瑞浪市化石博物館	瑞浪層群の化石（新生代新第三紀中新世）			120	バカガイ	豊橋市自然史博物館
22	チュウコシオリエビ科の未定種	瑞浪市化石博物館				121	トリガイ	豊橋市自然史博物館
23	ムツアシガニ属の未定種	瑞浪市化石博物館				122	トリガイ	半田市立博物館
24	コウナガカイカメリ属の未定種	瑞浪市化石博物館	No.	和 名	所 蔵	123	バカガイ	半田市立博物館
25	チタスナモグリ	東海化石研究会	74	ココヤマビカリア	瑞浪市化石博物館	124	カガミガイ	半田市立博物館
26	チタスナモグリ	東海化石研究会	75	ミズナミホタテ	瑞浪市化石博物館	125	ゴイサギガイ	半田市立博物館
27	“カニ石”（ノジュール）	半田市立博物館	76	ウシジミ	瑞浪市化石博物館	伊勢湾・衣浦湾の化石（新生代第四紀完新世）		
28	テリオクリス	瑞浪市化石博物館	77	ノムラカミガイ	瑞浪市化石博物館			
29	クモヒトデの一種	東海化石研究会	78	シトラリアサリ	瑞浪市化石博物館	No.	和 名	所 蔵
30	キリバナヒトデの一種	東海化石研究会	79	ミササエ	瑞浪市化石博物館	126	サンドバイブ（生痕化石）	半田市立博物館
31	キリバナヒトデの一種	名古屋大学博物館	80	イズモユキシアシタガイ	瑞浪市化石博物館	127	ケバカエンコウガニ	瑞浪市化石博物館
32	ゴカクヒトデの一種	東海化石研究会	81	ノコギリガザミ	瑞浪市化石博物館	128	ノコハオサガニ	瑞浪市化石博物館
33	(黄) ゴカクヒトデの一種 (赤) ドラステル・ミズノイ	名古屋大学博物館	東海層群の化石（新生代新第三紀鮮新世）			129	ケバカエンコウガニ	瑞浪市化石博物館
34	ドラステル・ミズノイ	東海化石研究会				130	ノコハオサガニ	瑞浪市化石博物館
35	ドラステル・ミズノイ	東海化石研究会	No.	和 名	所 蔵	131	ムカシメクラガニ	瑞浪市化石博物館
36	ナマハゲフクロウニ属の一種	東海化石研究会	82	シナノブガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	132	イシガニ	瑞浪市化石博物館
37	タヌキブンク属の一種	瑞浪市化石博物館	83	シナノブガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	133	マルバガニ	瑞浪市化石博物館
38	タヌキブンク属の一種	東海化石研究会	84	シナノブガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	134	ヘイケガニの仲間	名古屋大学博物館
39	オンデンザメの歯	瑞浪市化石博物館	85	シナノブガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	135	ヘイケガニの仲間	名古屋大学博物館
40	アオザメ属の歯	瑞浪市化石博物館	86	シナノブガイ属の一種	半田市立博物館	136	ヒシガクコブシ	名古屋大学博物館
41	ソコダラの一種	東海化石研究会	87	クサビシナガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	137	ナナトゲコブシ	名古屋大学博物館
42	サガミソコダラの一種	東海化石研究会	88	クサビシナガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	138	ナナトゲコブシ	名古屋大学博物館
43	ザバの一種	東海化石研究会	89	クサビシナガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	139	イボイチョウガニ	名古屋大学博物館
44	キチジ	東海化石研究会	90	シナノブガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	140	ヘリトリコブシ	名古屋大学博物館
45	タチモドキ	東海化石研究会	91	マツカサガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	141	ヘリトリコブシ	名古屋大学博物館
46	タチモドキ	瑞浪市化石博物館	92	マツカサガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	142	イシガニ	名古屋大学博物館
47	アブラガラレイ	東海化石研究会	93	マツカサガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	143	ムカシメクラガニ	名古屋大学博物館
48	トカゲギス	瑞浪市化石博物館	94	マツカサガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	144	ヒメムツアシガニ	名古屋大学博物館
49	キツネソコギス	瑞浪市化石博物館	95	マツカサガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	145	イソガニの仲間	名古屋大学博物館
50	ウキエソの一種	東海化石研究会	96	マツカサガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	146	イソガニの仲間	名古屋大学博物館
51	ヒガシホウライエソ	東海化石研究会	97	オトコテボシガイ属の一種	豊橋市自然史博物館	147	オヨギピンノ	名古屋大学博物館
52	ハダカイワシの一種	東海化石研究会	98	マルタニシ属の一種	豊橋市自然史博物館	148	カニダマシの仲間	名古屋大学博物館
53	(黄) ハダカイワシの一種 (赤) チュウコシオリエビの一種	東海化石研究会	99	タニシの仲間	半田市立博物館	149	マメウニの仲間	名古屋大学博物館
54	ハダカイワシの現生種（液浸標本）	東海化石研究会	100	ヒメタニシ属の一種	豊橋市自然史博物館	150	メジロザメ属の歯ほか	名古屋大学博物館
			101	イガタニシ属の一種	豊橋市自然史博物館			

館蔵品展「鈴木花蓑展」

期 間：令和4年9月17日(土)～11月6日(日)

会 場：特別展示室（2階）、展示コーナー（1階）

入場者数：10,641 人

展示内容：俳句誌や短冊、直筆の原稿や手紙を展示し、

花蓑の生涯や周囲の人々について紹介した。

展示点数：30 点



15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
ホトトギス 第三十一巻第十一號	ホトトギス 第三十三巻第三號	ホトトギス 第二十五巻第三號	ホトトギス 第二十四巻第六號	アヲミ 一八九號	アヲミ 一三八號	アヲミ 一八七號	アヲミ 百八號	アヲミ 一八一號	原稿	鈴木花蓑句集	ホトトギス 第四十六巻第五號	ホトトギス 第四十六巻第三號	ホトトギス 第三十七巻第二號	ホトトギス 第四十二巻第六號	作品名
昭和三年八月一日	昭和四年十二月一日	大正十年十二月一日	大正十年三月一日	昭和十七年十一月二七日	昭和十三年八月一日	昭和十七年九月一日	昭和六年二月一日	昭和十七年三月一日	—	昭和二年九月三〇日	昭和十八年一月二五日	昭和十七年十一月一日	昭和八年十一月一日	昭和十四年四月一日	発行日
半田市立博物館	半田市立博物館	半田市立博物館	半田市立博物館	碧南市	碧南市	碧南市	碧南市	碧南市	碧南市	半田市立図書館	半田市立博物館	半田市立博物館	半田市立博物館	半田市立博物館	所蔵

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	
書簡	破魔弓	ホトトギス 第三十九第一號	ホトトギス 第三十二巻第四號	短冊	短冊	短冊	短冊	色紙	掛軸	掛軸	掛軸	ホトトギス 第三十五巻第七號	ホトトギス 第三十三巻第九號	ホトトギス 第三十二巻第十號	作品名
—	大正十四年二月一日	昭和十年十月一日	昭和四年一月一日	—	—	—	—	—	—	—	—	昭和七年四月一日	昭和五年六月一日	昭和四年七月一日	発行日
碧南市	半田市立図書館	半田市立博物館	半田市立博物館	半田市立図書館	半田市立博物館	半田市立博物館	半田市立博物館	半田市立博物館	半田市立図書館	半田市立図書館	半田市立図書館	半田市立博物館	半田市立博物館	半田市立博物館	所蔵

「第37回半田市立博物館 友の会合同展」

期 間：令和4年12月3日(土)～12月25日(日)

会 場：特別展示室（2階）、展示コーナー（1階）

入場者数：4,395人

展示内容：博物館友の会各部員の会員による作品を

展示した。

展示点数：113点



展示資料一覧

部会名	主な作品	点 数
染色部会	テーブルセンター・タペストリー・のれん・袋・スカーフ・チュニック・ブラウス・Tシャツ・エコバッグ・ショルダーバック・バッグ、ポシェット など	40 点
はたおり部会	織り布・バッグ・ポーチ・チュニック・ブラウス・ランチョンマット・敷物・タペストリー・ブラウスとサルエルパンツ・トートバック・スカート など	36 点
古文書部会 古文書研究会	平家物語絵巻（明星大学蔵）巻十一 那須の与一の事（29頁～34頁） 北条 義時文書 3点	2 点
陶芸部会	花器・食器・松竹梅絵付花器・焼締め花器・かいらぎ抹茶碗 など	15 点
歴史部会	令和4年度現地研修および室内研修資料	1 点
拓本部会	神谷定女句碑・花かつみ伝承の地碑・音声菩薩・色拓音声菩薩・松尾芭蕉句碑・モニュメント台座・良寛句碑・賀川豊彦詞碑・高浜虚子句碑・安藤(歌川)広重銅板画碑・会津八一歌碑・日々是好日・相田みつを詞碑・風葉碑 など	19 点



新収蔵品展

期 間：令和5年3月4日（土）～4月9日（日）

会 場：特別展示室（2階）、展示コーナー（1階）

入場者数：7,401 人

展示内容：令和元年以降、博物館に寄贈された 1,000 点を
 超える資料の中から、自然・歴史・生活・美術品など、
 学芸員が厳選した様々なジャンルの資料を展示した。

展示点数：112 点



展示資料一覧

No.	分 類	寄贈年月日	内 容	No.	分 類	寄贈年月日	内 容
1	生 活	令和2年7月4日	芋切り機	57	生 活	令和5年1月19日	種豚血統証明書
2	生 活	令和3年3月4日	竜吐水	58	生 活	令和5年1月19日	移動証明書
3	生 活	令和2年6月6日	荷積車鑑札	59	生 活	令和5年1月19日	賞金授与證
4	生 活	令和3年10月22日	電鍵	60	生 活	令和5年1月19日	血統書
5	生 活	令和2年2月18日	プロカルキュラー	61	歴 史	令和4年3月24日	大日本交通全図
6	生 活	令和2年2月18日	オキシヘーラー	62	歴 史	令和元年8月23日	愛知縣地圖
7	彫 刻	令和3年12月15日	観音像	63	歴 史	令和5年1月19日	尋常小學理科書（第四學年兒童用）
8	絵 画	令和元年6月25日	「樹洞」	64	歴 史	令和5年1月19日	小學國語讀本 卷二（尋常科用）
9	絵 画	令和元年6月25日	「梅」	65	歴 史	令和5年1月19日	尋常小學修身書 卷三（兒童用）
10	絵 画	令和5年1月6日	「龍（雲龍）」	66	歴 史	令和5年1月19日	尋常小學算術 上（第四學年兒童用）
11	絵 画	令和3年7月15日	「Cantabile」	67	歴 史	令和5年1月19日	國民禮法（初等科第五學年）
12	絵 画	令和3年3月20日	年賀状	68	歴 史	令和5年1月19日	尋常小學裁縫書（第四學年）
13	絵 画	令和3年3月30日	「桃」	69	生 活	令和4年3月24日	番傘
14	絵 画	令和3年3月30日	「ピーマン」	70	歴 史	令和3年11月5日	九八式軍衣
15	絵 画	令和3年3月30日	「海岸」	71	歴 史	令和3年4月13日	出征旗
16	絵 画	令和元年6月16日	スケッチ	72	歴 史	令和3年4月13日	鉄帽
17	掛 軸	令和3年12月11日	「淡青緑松林山水絹本方幅」	73	歴 史	令和3年4月13日	陸軍歩兵学校教導連隊写真帖
18	掛 軸	令和3年12月11日	「山水図」	74	歴 史	令和3年4月13日	戦争関係写真
19	掛 軸	令和3年12月15日	「淡彩溪山幽居之図絹本」	75	歴 史	令和3年3月23日	委嘱状
20	工芸品	令和3年12月11日	盆（山本石叟 画）	76	歴 史	令和3年3月23日	第三師管 國防婦人會 役員章
21	絵 画	令和4年2月2日	山本梅莊・石莊宛の葉書	77	歴 史	令和3年3月23日	愛國婦人會 有功章
22	絵 画	令和3年12月11日	「雀」	78	歴 史	令和3年3月23日	愛國婦人會 佩有功章 特別會員
23	絵 画	令和4年9月30日	画帖「花月帖」	79	歴 史	令和3年3月18日	勲七等青色桐葉章
24	絵 画	令和4年9月30日	画帖「墨華帖」	80	歴 史	令和3年3月23日	「大陸行進曲」（ビクターレコード）
25	工芸品	令和3年9月2日	茶道具入れ（山本梅莊 画）	81	歴 史	令和3年3月23日	「興亜行進曲」（コロムビアレコード）
26	絵 画	令和3年12月15日	色紙	82	歴 史	令和3年3月23日	「愛馬進軍歌」（ビクターレコード）
27	絵 画	令和3年12月15日	色紙	83	歴 史	令和3年3月23日	「國民進軍歌」（ビクターレコード）
28	絵 画	令和3年12月15日	色紙	84	歴 史	令和3年3月23日	「父よあなたは強かつた」（コロムビアレコード）
29	絵 画	令和3年12月15日	色紙	85	歴 史	令和3年3月23日	「陸軍現用機爆音集」（ニッタク）
30	絵 画	令和3年5月18日	六曲一双屏風	86	歴 史	令和3年3月23日	「世界一周大飛行の歌」（ビクターレコード）
31	掛 軸	令和4年12月21日	「花鳥之図」	87	歴 史	令和3年3月23日	「大陸行進曲」（ビクターレコード）
32	掛 軸	令和4年12月21日	「末広がり」	88	歴 史	令和3年3月23日	「愛馬進軍歌」（キングレコード）
33	掛 軸	令和3年12月15日	「兜」	89	生 活	令和4年12月14日	通い徳利
34	彫 刻	令和3年3月6日	観音像	90	生 活	令和4年12月14日	五升樽
35	工芸品	令和3年12月15日	「名乗笛」	91	生 活	令和2年11月13日	百万遍
36	工芸品	令和2年3月11日	火鉢	92	祭 礼	令和4年7月28日	提灯
37	陶 芸	令和2年11月11日	「釉彩紋花瓶」	93	生 活	令和2年8月15日	手記
38	陶 芸	令和2年11月11日	「あかり」	94	歴 史	令和4年11月13日	古銭
39	版 画	令和4年2月3日	「白樺林」（木版画）	95	歴 史	令和2年8月7日	紀元2600年記念日本万国博覧会回数入場券
40	絵 画	令和3年3月14日	「半田市立図書館・博物館」	96	生 活	令和2年8月7日	井戸の滑車
41	絵 画	令和3年3月30日	「半田赤レンガ建物」	97	生 活	令和3年3月7日	散髪屋の道具
42	絵 画	令和3年3月25日	「矢勝川の彼岸花」	98	歴 史	令和元年5月28日	伊勢湾台風の記録写真
43	絵 画	令和3年3月14日	「春の山車まつり（協和車）」	99	歴 史	令和元年8月21日	罹災証明書
44	絵 画	令和3年3月25日	「常滑やきもの散歩道」	100	歴 史	令和元年8月21日	家屋（住宅）応急修理決定書
45	自 然	令和4年8月3日	昆虫標本	101	歴 史	令和元年10月11日	伊勢湾台風関係書類綴
46	自 然	令和3年12月21日	化石標本	102	歴 史	令和元年10月25日	成岩神社昇格関係書類
47	自 然	令和3年12月21日	生痕化石	103	歴 史	令和3年3月16日	童蒙造記
48	歴 史	令和3年3月4日	半田第一尋常高等小学校卒業記念帖	104	生 活	令和元年8月23日	雑記帳
49	歴 史	令和4年10月8日	會員名簿（知多郡教員總會）	105	生 活	令和元年8月23日	細字練習帳
50	生 活	令和4年3月24日	日働勤怠表	106	歴 史	令和2年7月10日	新聞記事「大本營門標発見」
51	歴 史	令和元年12月21日	第17回卒業記念廣島高等師範学校卒業アルバム	107	歴 史	令和3年9月15日	證書
52	生 活	令和5年1月19日	乳牛による畜力利用	108	祭 礼	令和3年3月23日	古文書「知多郡乙川村北組若者定序」
53	生 活	令和5年1月19日	知多牛乳組合員牛及山羊籍簿	109	歴 史	令和4年3月26日	中島飛行機半田製作所所歌楽譜
54	生 活	令和5年1月19日	願届留	110	歴 史	令和4年3月26日	手紙
55	生 活	令和5年1月19日	牛籍簿	111	歴 史	令和4年3月26日	中島飛行機半田製作所内「彩雲」組立て風景写真
56	生 活	令和5年1月19日	日記	112	歴 史	令和3年7月20日	中島飛行機半田製作所 製図用机

(2) その他の展示

タイトル	期 間	観覧者数	備 考
原爆と人間展	7月15日(金)～ 8月30日(火)	16,601人	主催：半田市(担当：総務課) 会場：1階 通路壁面
愛知やきものヒストリー2022	7月16日(土)～ 9月4日(日)	17,902人	会場：1階 受付前
認知症理解促進展示会	9月9日(金)～ 9月19日(月)	2,929人	主催：半田市(健康課) 会場：1階ロビー・2階通路壁面
かぼちゃのおもさ当てクイズ	9月22日(木)～ 10月22日(土)	5,499人	会場：1階 受付前
知多中部広域少年消防クラブ 防火作品展	11月8日(火)～ 11月23日(水)	3,211人	主催：知多中部広域事務組合消防本部 会場：2階 特別展示室前
半田市・徐州市児童書画作品展	11月11日(金)～ 11月27日(日)	4,126人	主催：半田市(担当：秘書課) 会場：2階 特別展示室
第51回 半田さわやか教育展	1月13日(金)～ 1月24日(火) 午前	5,400人	主催：半田市教育委員会 会場：1階 展示コーナー 2階 特別展示室
半田市小中学校書写展	1月25日(水)～ 2月3日(金) 午前	3,375人	主催：半田市教育委員会 会場：1階 展示コーナー 2階 特別展示室
第38回 半田市中学校美術部展	2月4日(土)～ 2月10日(金) 午前	1,801人	主催：半田市教育委員会 会場：1階 展示コーナー 2階 特別展示室
第38回半田市造形教育展	2月11日(土)～ 2月22日(水) 午前	4,774人	主催：半田市教育委員会 会場：1階 展示コーナー 2階 特別展示室
ミニ展示「ひなまつり展」	2月4日(土)～ 3月5日(日)	9,353人	会場：1階 受付前

(3) 山車展示

区 分	搬 入	組上げ	搬 出
乙川西山神楽車	令和4年3月27日(日)	令和4年4月3日(日)	令和4年6月26日(日)
板山大湯組花王車	令和4年6月26日(日)	令和4年7月3日(日)	令和4年10月23日(日)
西成岩西組敬神車	令和4年10月23日(日)	令和4年10月30日(日)	令和5年3月19日(日)

5. 教育普及活動

(1) 博物館講座・講演会等

タイトル	日 程	講 師	人 数
勾玉をつくろう	6月4日(土)	博物館学芸員	4組10人
企画展記念講演会「世界第一級の深海化石発掘調査プロジェクト～師崎層群と東海化石研究会～」	7月2日(土)	水野 吉昭 氏	30人
文化財見学会(大池古窯)	7月23日(土)	近藤 英正 氏	5人
化石を発掘しよう!～木の葉化石編～ (会場:第1会議室)	7月24日(日) 8月6日(土)	博物館学芸員	21人 30人
企画展関連イベント 「コハクを磨いて昆虫を観察しよう!」	7月30日(土) 7月31日(日)	東海化石研究会	48人 54人
天然石できれいな万華鏡を作ろう!	8月14日(日)	博物館学芸員	31人
化石を発掘しよう!～木の葉化石編～ (会場:エントランスホール)	8月27日(土) 8月28日(日)	博物館学芸員	90人 100人
和本を作ろう!	10月9日(日)	博物館学芸員	20人
夜の図書館・博物館で怖～い話を聞く会	8月5日(金)	図書館・博物館共催	30人
文化財よもやま話(全8回)	9/10(土)、11(日)、 17(土)、18(日)	文化財専門委員	183人
てんこく講座	11月12日(土)	吉原 愛璃 氏	9人
ハーバリウムづくり	12月17日(土)	近藤 水名子 氏	3人
古文書講座	令和5年 1月21日(土)	博物館専門員	32人

(2) 視察及び見学

月 日	時 間	団体名等	人 数	場 所	解説
8月6日(土)	10:30～12:30	半田市観光ガイド協会	20人	博物館	○
9月22日(土)	13:10～14:10	春日井市文化財ボランティアの会	30人	博物館	○
10月16日(日)	14:00～14:40	中部民児協	22人	博物館	○
10月23日(日)	12:50～13:40	日進市民俗芸能連合会	30人	博物館	○

10月27日(木)	10:00～11:00	小牧市立一色小学校	95人	博物館	
10月30日(日)	9:30～11:00	半田市企画課・半田市観光協会	20人	博物館	○
11月9日(水)	10:00～11:00	小牧市文化協会	30人	博物館	○
11月29日(火)	10:30～11:30	愛知県神社庁 尾東支部	23人	博物館	○
12月6日(火)	15:30～16:00	北脇町内会長・副会長 OB 会	12人	博物館	○
12月8日(木)	12:00～12:30	四日市商店連合会	35人	博物館	○
4月16日(土)	13:30～14:00	札幌中法人会女性部会	15人	旧中埜家住宅	○
4月27日(水)	10:00～10:45	クラブツーリズム株式会社	12人	旧中埜家住宅	○
6月16日(木)	13:45～15:15	半田市観光ガイド協会	40人	旧中埜家住宅	○
8月18日(木)	9:30～10:00	半田市観光協会	6人	旧中埜家住宅	○
10月19日(水)	13:20～14:20	クラブツーリズム株式会社	12人	旧中埜家住宅	○
12月3日(土)	13:00～13:30	愛知県生涯学習推進センター	40人	旧中埜家住宅	○
12月14日(水)	9:30～10:00	半田市観光協会	5人	旧中埜家住宅	○
1月8日(日)	11:00～12:00	京都華頂大学歴史建築研究会	17人	旧中埜家住宅	○

(3) 半田市内小学校3年生の見学学習

小学校3年生を対象として、半田市の様子を紹介した番組の上映、展示室見学と昔の生活道具の学習を行っている。令和4年度は下記のとおり実施した。

年 月 日	学 校 名	学 年	クラス数	人 数
10月19日(水)	亀崎小学校	3年生	3	83人
10月20日(木)	さくら小学校	3年生	2	49人
10月20日(木)	雁宿小学校	3年生	2	73人
10月21日(金)	乙川小学校	3年生	3	91人
10月25日(火)	半田小学校	3年生	2	57人
10月25日(火)	有脇小学校	3年生	1	23人
10月26日(水)	宮池小学校	3年生	3	99人
10月27日(木)	乙川東小学校	3年生	2	72人

10月28日(金)	成岩小学校	3年生	3	80人
11月1日(火)	板山小学校	3年生	2	65人
11月1日(火)	岩滑小学校	3年生	2	62人
11月2日(水)	花園小学校	3年生	3	107人
11月4日(金)	横川小学校	3年生	3	84人
合 計	13校		31クラス	945人

6. 資料の収集・整理・保存

(1) 刊行物の寄贈

令和4年度は全国の博物館施設・公官庁・大学・研究機関など、あわせて118の機関から258点の文献を寄贈いただきました。ここに記してお礼申し上げます。(順不同)

【北海道】北海道立北方民族博物館／【岩手県】花巻市博物館／【茨城県】上高津貝塚ふるさと歴史の広場／土浦市立博物館／【埼玉県】川越氷川祭の山車行事保存会／【千葉県】国立歴史民俗博物館／市立市川歴史博物館／野田市郷土博物館／野田市市史編纂／木更津市郷土博物館金のすず／【東京都】昭和館／世田谷区立郷土資料館／世田谷区政策経営部政策企画課区史編さん／東京都江戸東京博物館／たばこと塩の博物館／(公財)日本文化財保護協会／(独)日本芸術文化振興会【神奈川県】馬の博物館／平塚市博物館／横須賀市自然・人文博物館／横浜市歴史博物館／川崎市市民ミュージアム／【富山県】氷見市立博物館／射水市新湊博物館／【福井県】福井県陶芸館／福井県立こども歴史文化館／【長野県】飯田市美術博物館／諏訪市教育委員会／【岐阜県】各務原市歴史民俗資料館／岐阜市歴史博物館／瑞浪市陶磁資料館／美濃加茂市民ミュージアム／【静岡県】島田市博物館／沼津市歴史民俗資料館／浜松市博物館／浜松市地域遺産センター／磐田市教育委員会／駿府博物館／【愛知県】愛知学院大学／愛知県陶磁美術館／愛知県埋蔵文化財調査センター／熱田神宮宝物館／荒木集成館／安城市歴史博物館／大口町歴史民俗資料館／大府市歴史民俗資料館／岡崎市美術博物館／春日井市道風記念館／蟹江町歴史民俗資料館／清須市はるひ美術館／江南市歴史民俗資料館／新城市鳳来寺山自然科学博物館／瀬戸蔵ミュージアム／田原市博物館／中部大学民俗資料博物館／知立市歴史民俗資料館／とこなめ陶の森資料館／豊川市桜ヶ丘ミュージアム／豊田市郷土資料館／トヨタ博物館／豊橋市自然史博物館／豊橋市美術博物館／豊橋市二川宿本陣資料館／名古屋市博物館／名古屋市秀吉清正記念館／(一財)名古屋城振興協会／南山大学人類学博物館／西尾市岩瀬文庫／碧南海浜水族館・碧南市青少年海の科学館／碧南市藤井達吉現代美術館／みよし市立歴史民俗資料館／愛知大学総合郷土研究所／高浜市／愛知県／西尾市教育委員会／稲沢市教育委員会／名古屋市教育委員会／東海市教育委員会／豊川市教育委員会／中京大学文学会／豊橋市文化財センター／豊田市教育委員会／清須市教育委員会／愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会／春日井市教育委員会／安城市埋蔵文化財センター／刈谷市／日本福祉大学

知多半島総合研究所／刈谷市歴史博物館／知多市史編さん委員会／愛知県立芸術大学文化財保存研究所／愛知大学豊橋教務課／あいち朝日遺跡ミュージアム／名古屋大学人文学研究科考古学研究室【三重県】亀山市歴史博物館／斎宮歴史博物館／藤原岳自然科学館／【滋賀県】高島歴史民俗資料館／滋賀県立大学／（公財）長浜曳山文化協会／楽浪文化財修理所／【京都府】京都市考古資料館／立命館大学国際平和ミュージアム／【大阪府】大阪歴史博物館／吹田市立博物館／【兵庫県】明石市立文化博物館／赤穂市立田淵記念館／西宮市立郷土資料館／【奈良県】奈良文化財研究所・飛鳥資料館／【山口県】山口県立山口博物館／【徳島県】徳島市立徳島城博物館／【香川県】香川県立ミュージアム／（公財）松平公益会／【愛媛県】宇和島市教育委員会／【高知県】高知県立美術館／【福岡県】九州産業大学美術館【熊本県】熊本市立熊本博物館

（２）資料寄贈

ア 美術品

受入日	種類	作品名	作 者	点 数
令和４年９月３０日	絵画	画帖「墨華帖」	山本梅莊一門ほか	１点
	絵画	画帖「花月帖」	山本梅莊一門ほか	１点
	工芸品	盆	森高 画	１点
１２月２１日	掛軸	掛軸「花鳥之図」	山本梅逸	１点
	掛軸	掛軸「狂言 春日山図」	伊勢門水	１点
	書	掛軸（書）	吉田厚一	１点
	書	掛軸（書）	作者不詳	１点
令和５年１月６日	絵画	龍（雲龍）	榊原章人	１点

イ 一般資料

受入日	資料名	点 数
令和４年５月２２日	カプトビールの木箱	１点
７月２８日	提灯(乙川 西山)	２５点
８月３日	昆虫標本	１０箱
１０月８日	會員名簿（知多郡教員總會）ほか	４７点
１１月１３日	古銭	一式
１２月１３日	スケッチブック	１点

	人形制作の参考資料	一式
	桐塑人形の台座	2点
	能面制作の道具	一式
	碗	2点
12月14日	尾張古地図集	1点
	通い徳利	2点
	醤油徳利	1点
令和5年1月19日	書籍、日記、褒章、血統書、乳牛良否鑑定書ほか	35点
1月20日	新美茂登司関係資料ほか	99点
1月31日	欄間	1点
2月22日	古文書	一式
2月28日	錢箱	1点
	庭訓往来	1点
	古文書	一式
3月12日	家族写真	1点
	野球チームの集合写真	1点
	新撰字類	1点

(3) 収蔵資料点数(令和5年3月31日時点)

区 分	数 量	区 分	数 量
生 活	6,793点	自 然	175点
産 業	4,935点	古文書	4,790点
民 俗	1,412点	美術品	1,535点
考 古	207点	歴 史	1,598点
合 計		21,445点	

7. 半田市立博物館友の会活動

半田市郷土資料館友の会（昭和 53 年設立）を前身として、昭和 59 年に設立された。半田市立博物館の活動に協力し、あわせて郷土の文化遺産を守り歴史・民俗・自然に関する知識を深め、会員相互の親睦をはかることを目的としている。その後、任意団体として独立しつつも、博物館事業への積極的な協力を目的の一つに掲げ、現在は、古文書、拓本、陶芸、はたおり、歴史、染色の 6 部会が活動している。

令和 4 年度実績（令和 4 年 8 月 1 日時点）

部会名	会員数	部会名	会員数	部会名	会員数
古文書部会	15 人	陶芸部会	5 人	歴史部会	30 人
拓本部会	9 人	はたおり部会	25 人	染色部会	23 人

8. 文化財保護事業

（１）文化財専門委員会

①設置目的

市内における文化財の調査及び保護活用に関して研究し、教育委員会の諮問に応じて意見を具申し、又は建議する。

②委員の構成（10 名）

学識経験者の中から教育委員会が委嘱する。委員の任期は 3 年。毎年、委員長 1 名、副委員長 1 名を選出し、委員長は委員会を代表し会議の議長となる。

（２）文化財の保護

①指定文化財の数（令和 5 年 3 月 31 日現在）

種 類			国指定	県指定	市指定	計
有形文化財	建造物		2	0	6	8
	美術工芸品	絵 画	3	0	3	6
		彫 刻	1	0	10	11
		工芸品	3	0	4	7
		書跡・典籍・古文書	2	0	9	11
民俗文化財	有 形		1	1	6	8
	無 形		1	2	6	9
記念物	史 跡		0	1	2	3
	天然記念物	植 物	0	1	3	4
計			13	5	49	67

②指定文化財一覧

	種 別	名 称	員 数	指定年月日	所在地	所有者又は管理者
国指定	建造物	旧中荅家住宅	1 棟	昭和 51.2.3	天王町 1-30-2	半田市
	彫刻	木造阿弥陀如来立像	1 躯	昭和 6.12.14	東郷町 2-41	常楽寺
	有形民俗	半田の酢醸造用具	323 点	平成 28.3.2	桐ヶ丘 4-209-1	半田市
	無形民俗	亀崎潮干祭の山車行事	—	平成 18.3.15	亀崎町 2-92-1	亀崎潮干祭保存会
	建造物	小栗家住宅	12 棟	令和 4.9.20	中村町 1-18	個人
県指定	有形民俗	亀崎潮干祭の山車	5 輛	昭和 41.1.17	亀崎町 2-92-1	亀崎潮干祭保存会
	無形民俗	大獅子小獅子の舞	—	昭和 42.10.30	成岩本町 4-5	成岩第四区獅子保存会
	無形民俗	板山獅子舞	—	平成 9.10.17	神代町 1-61	板山獅子保存会
	史跡	大高山古窯	297 m ²	昭和 33.6.21	上池町 2-31	半田市
	天然記念物	摂取院のイブキ	1 樹	昭和 56.2.23	前崎東町 44	摂取院
市指定	建造物	乙川八幡社本殿	1 棟	昭和 58.4.1	乙川殿町 97	八幡社
	建造物	秋葉社本殿	1 棟	昭和 58.4.1	亀崎町 4-80	秋葉社
	建造物	旧新美家住宅(新美南吉養家)	1 軒	昭和 62.10.30	平和町 7-60	公益財団法人かみや美術館
	建造物	雲観寺鐘楼	1 棟	平成 23.11.1	中村町 1-41	雲観寺
	建造物	一切経蔵、八角輪蔵	1 棟	平成 23.11.1	中村町 1-41	雲観寺
	建造物	半田ハリストス正教会「聖イオン・ダマスキン聖堂」	1 棟	令和元.6.21	乙川西ノ宮町 3-33	半田ハリストス正教会
	絵画	血誓の阿弥陀如来絵像	2 幅	昭和 41.3.31	亀崎町 3-51	浄願寺
	絵画	絹本着色方便法身尊像	1 幅	平成 23.11.1	中村町 1-41	雲観寺
	絵画	半田ハリストス正教会の聖障(イコノスタス)	27 枚	令和元.6.21	乙川西ノ宮町 3-33	半田ハリストス正教会
	彫刻	薬師如来座像	1 躯	昭和 41.3.31	東郷町 2-86	西薬師教会
	彫刻	十一面観世音菩薩立像	1 躯	昭和 41.3.31	有楽町 2-34	鳳出観音教会
	彫刻	多聞天立像	1 躯	昭和 48.4.12	有楽町 2-34	鳳出観音教会
	彫刻	地藏菩薩立像	1 躯	昭和 48.4.12	有楽町 2-34	鳳出観音教会
	彫刻	聖観世音菩薩立像	1 躯	昭和 48.4.12	東郷町 2-86	西薬師教会
	彫刻	大日如来座像	1 躯	昭和 48.4.12	東郷町 2-86	西薬師教会
	彫刻	聖観世音菩薩立像	1 躯	昭和 58.7.1	東本町 2-16	光照院
	彫刻	阿弥陀如来立像	1 躯	昭和 60.8.1	堀崎町 1-58	順正寺
	彫刻	木造薬師如来座像	1 躯	昭和 61.2.1	成岩本町 2-5	北薬師教会
	彫刻	木造聖徳太子立像(南無仏二歳像)	1 躯	平成 23.11.1	中村町 1-41	雲観寺

市指定	工芸	陶製水瓶	1 個	昭和 41.3.31	—	個人
	工芸	三筋壺	2 個	昭和 44.5.22	桐ヶ丘 4-209-1	半田市
	工芸	巴文大甕	1 個	昭和 54.4.1	—	個人
	工芸	懸盤	1 脚	平成 23.11.1	中村町 1-41	雲観寺
	古文書	乙川文書	935 点	昭和 53.4.1	桐ヶ丘 4-209-1	半田市
	古文書	西成岩文書	516 点	昭和 53.4.1	桐ヶ丘 4-209-1	半田市
	古文書	乙川八幡社祭礼絵図	1 巻	昭和 58.4.1	乙川殿町 97	八幡社
	古文書	絵像阿弥陀如来(大品)裏書	1 巻	昭和 60.8.1	堀崎町 1-58	順正寺
	典籍	乙川八幡社社地絵図面	1 巻	昭和 58.4.1	乙川殿町 97	八幡社
	典籍	黄檗鉄眼版一切経	276 帙 2104 冊	平成 23.11.1	中村町 1-41	雲観寺
	書跡	六字名号	1 幅	平成 23.11.1	中村町 1-41	雲観寺
	書跡	九字名号	1 幅	平成 23.11.1	中村町 1-41	雲観寺
	書跡	御文	1 巻	平成 23.11.1	中村町 1-41	雲観寺
	有形民俗	向山神楽獅子の館	1 台	昭和 45.11.10	向山町 2-30	向山神楽獅子保存会
	有形民俗	半田山車まつり 市内 9 地区の山車	26 輛	昭和 54.5.4	市内 26 ヶ所山車蔵	半田山車祭り保存会
	有形民俗	乙川八幡社絵馬群	9 面	昭和 58.4.1	乙川殿町 97	八幡社
	有形民俗	中村組神輿	1 基	平成 15.4.1	東本町 2-23	業葉神社
	有形民俗	平地神明社の算額	1 面	平成 28.7.8	平地町 1-72	平地神明社奉賛会
	有形民俗	業葉神社の古面	1 面	平成 30.3.16	桐ヶ丘 4-209-1	業葉神社
	無形民俗	向山神楽獅子の神事	—	昭和 44.3.14	向山町 2-30	向山神楽獅子保存会
	無形民俗	ちんとう祭の三番叟	—	昭和 54.7.28	宮路町 53	住吉ちんとう祭委員会
	無形民俗	銭太鼓踊り	—	平成 13.6.1	成岩本町 4-5	成岩銭太鼓保存会
	無形民俗	板山万歳	—	平成 21.5.1	板山町 15-168	愛知・半田・板山万歳保存会
	無形民俗	下半田祭礼行事	—	平成 31 年 3.8	東本町 2-23	下半田祭礼保存会
	無形民俗	乙川祭礼行事	—	平成 31 年 3.8	乙川殿町 97	乙川祭礼保存会
	史跡	亀崎渡船場跡	—	昭和 54.4.1	亀崎町 2-234-1	神前神社
	史跡	大池古窯	3 基	平成 8.8.1	鵜ノ池町 33-1	半田市
	天然記念物	津島社のムクノキ	1 樹	昭和 52.10.1	住吉町 8-50	津島社天王講
	天然記念物	常福院のソテツ	1 株	昭和 53.4.1	岩滑中町 7-23	常福院
	天然記念物	萬三の白モッコウバラ	1 樹	平成 23.12.1	中村町 1-18	個人

※所有者に同意を得た文化財のみ記載しています。

③国登録有形文化財

種 別	名 称	員 数	登録年月日	所在地	所有者または管理者
建造物	半田赤レンガ建物（旧カプトビール工場）	3 棟	平成 16.7.23	榎下町 8	半田市
建造物	愛知県立半田商業高等学校正門門柱 （旧愛知県知多郡立高等女学校正門）	1 基	平成 29.6.28	白山町 2-30	愛知県
建造物	旧愛知県半田中学校武道場 （七中記念館）	1 棟	令和 4.6.29	出口町 1-30	愛知県
建造物	旧伊東合資会社	3 棟	令和 4.10.31	亀崎町 9-111 他	法人

（３）保存修理・保存施設整備補助事業

令和４年度は、次のとおり文化財所有者が行う保存修理等を支援し、文化財の保存継承を行った。

名 称	種 別	補助事業者	内 容
半田山車祭りの 山車（26 輛）	有形民俗	協和西組協和車	文化財保存事業（胴柱・壇箱・山部彫刻修理、吹流復元新調、飾房修理・復元新調）
		西成岩西組敬神車	文化財保存施設整備事業（山車蔵兼鞘修理）
津島社ムクノキ	天然記念物	津島社天王講	津島社ムクノキ文化財保存事業（天然記念物保護増殖）

なお、令和４年度は、国の令和３年度補正予算事業である「地域文化財総合活用推進事業（地域の伝統行事等のための伝承事業）」を活用できたため、次の文化財についても保存修理を行うことができた。

名 称	種 別	所有者・管理者	内 容
半田山車まつり 市内 9 地区の山車 26 輛	有形民俗	下半田南組（護王車）※	堂山柱復元新調、銚金具修理
		（一社）協和西組保存会 （協和車）※	台輪復元新調
向山神楽獅子の館	有形民俗	向山区神楽獅子保存会※	獅子館修理
亀崎潮干祭の山車行事	重要無形民俗 （国）	亀崎潮干祭保存会	敬神社委員裁着袴復元新調 （５組）、水引幕・追幕・吹貫（吹流）修理（田中組神楽車）

※ 3 団体で半田市文化遺産活用山車等民俗文化財保存修理実行委員会を組織し実施。

亀崎潮干祭保存会は、国指定として単独で実施。

(4) 旧中埜家住宅保存管理事業・保存活用事業

令和4年度の主な公開等活用事業は次のとおり。

イベント名・内容等	日程等	場所等
旧中埜家住宅で春の写真を撮ろう	令和4年3月24日(木) ～5月5日(木・祝)	旧中埜家住宅、 博物館
「子ども用リーフレット」配布	令和4年4月～	旧中埜家住宅、博物館、 市ホームページ
旧中埜家住宅で組紐を体験しよう	令和4年5月13日(金)、 14日(土)	旧中埜家住宅
初夏の旧中埜家住宅一般公開 ー半六さんの別荘で音楽を楽しもうー	令和4年5月21日(土)、 22日(日)、30日(月)	旧中埜家住宅
ブラアイチ in 半田 (愛知県河川課主催)	令和4年6月19日(日)	旧中埜家住宅他 市内各所
旧中埜家住宅ポストカードプレゼント	令和4年7月7日(木) ～31日(日)	博物館
旧中埜家住宅 & 半田市立博物館 海からのメッセージ	令和4年8月5日(金) ～9月4日(日)	旧中埜家住宅、 博物館
折り紙建築ワークショップ 旧中埜家住宅の飛び出すカードをつくろう!	令和4年11月6日(日)	旧中埜家住宅
半田市制 85 周年記念 第 6 回 重要文化財旧中埜家住宅特別公開 ーインタビュー!文化財建造物をまもる人たちー	令和4年11月19日(土)、 20日(日)	旧中埜家住宅
名鉄ハイキング 蔵のまち・半田の発展を支えた 文化財をめぐるコース(名古屋鉄道㈱主催) ／半田市内の文化財を巡り知る日(半田市 観光協会主催)	令和4年11月26日(土)、 27日(日)	旧中埜家住宅他 市内各所
「折り紙建築の型紙・作り方」配布	令和4年11月～順次	旧中埜家住宅、博物館、 市ホームページ
生涯学習あいち県民講座「あいち歴史まちめぐ り」(愛知県生涯学習推進センター主催)	令和4年12月3日(土)	旧中埜家住宅、 小栗家住宅、 半田赤レンガ建物
旧中埜家住宅・桐華学園 刺し子のランチョンマットづくり	令和5年3月11日(土)	旧中埜家住宅
新美南吉の童話作品イラストによる外観装飾	令和5年3月23日(木) ～5月7日(日)	旧中埜家住宅

9. 入館者数

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	日 数	人 数	日 数	人 数	日 数	人 数
4月	0日	0人	26日	5,449人	26日	5,479人
5月	0日	0人	26日	6,717人	26日	5,201人
6月	25日	4,597人	26日	6,101人	26日	5,558人
7月	27日	5,347人	26日	7,710人	27日	10,558人
8月	26日	4,814人	25日	7,180人	26日	10,737人
9月	26日	4,585人	26日	5,178人	26日	6,799人
10月	27日	5,630人	26日	7,453人	26日	6,381人
11月	25日	4,603人	25日	5,445人	26日	6,694人
12月	24日	3,456人	24日	5,349人	24日	5,572人
1月	24日	6,188人	24日	9,960人	24日	10,151人
2月	24日	8,395人	24日	8,054人	24日	9,014人
3月	26日	5,737人	26日	5,806人	27日	5,822人
合 計	254日	53,352人	304日	80,402人	日	87,966人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月4日～5月31日まで臨時休館

今般御下米先達而村々江高割
被仰付当村分残高千貳百八拾石
徳造与八両艘二而御用相勤可
申候則

五百石

徳造船

七百八拾石

与八船

右之通割合二而御用為相勤可

申上候宜御聞濟被下置候様奉願上候

尤頃日与八両艘乗廻御用可

相勤可申筈奉願上候處与八

両艘二而八中々難積請候付両艘

相廻申候右願之通御聞濟被下置候八、

難有可奉存候 以上

酉十二月

亀崎村庄屋

間瀬佐次平

御船手

御奉行所

御役所

頃日中村権兵衛様を催促有之候付

※以下略（米取引の承諾願ひ）

七郎治船徳造船兩艘乗廻御用

米三拾七石

相勤可申旨御請書奉差上候付

乍恐御請書之事

七郎治船江聊方丈積請候様被

龜崎村

仰付甚々迷惑之旨申出候何卒

乍恐奉願上候御事

七郎次

今般之儀八故積請候四百五拾石二而

※以下略（米取引の承諾願ひ）

徳蔵

乍恐御決済被下置候様只管奉願上候

米貳拾石

右者今般江戸表御下米御急キ二付

頃日村々高割二被仰付候處又御急キ

旨二而居合船無之候八、登次第

深田冲江早速乗廻御用為勤候様

御狀趣奉畏然ル處頃日高割丈八

右兩船二而御用相勤可申旨二御座候間

依之右御請書奉差上候以上

酉十二月

龜崎村庄屋

間瀬佐次平

乍恐奉願上候御事

御船手

※以下略（米取引の承諾願ひ）

御役所

米百七拾貳石

御船而

御役所

龜崎村庄屋

与右衛門

乍恐奉願上候御事

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願ひ）

※以下略（米取引の承諾願ひ）

米百三拾五石

米百石

乍恐奉願上候御事

今般江戸御下之米御急キ二付頃日

七郎治船深田冲江為乗廻御米

四百石御材木五拾石積請申候處尚又

乍恐奉願上候御事

乍恐御請書之御事

龜崎村

庄屋

間瀬佐次平

鳴海

御陣屋御手附御同心様

懸濟仕候右物全

御威光故と重々難有仕合奉存候仍之

此段御達奉申上候 已上

西十二月

龜崎村

間瀬佐次平

鳴海

御陣屋

右間瀬佐次平御達奉申上候付奥印

仕候 已上

右村庄屋

竹内甚八

西十二月

龜崎村

庄屋

間瀬佐次平印

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願ひ）

米百三拾五石

御船手

御役人様

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願ひ）

米三拾四石

乍恐御達奉申上候御事

去申冬三州西尾米切手一条二付同国

大浜村水野出羽守様御役場江

御添附奉願上候処此節於内輪

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願ひ）

米六俵

乍恐奉願上候御事

※以下略（米・大豆の取引承諾願ひ）

米五拾石大豆五石

乍恐御達奉申上候御事

当村新七牢扶持之儀二付清三郎初メ作兵衛

五郎介三人之者共互二身複ケ間敷儀坏申

納得不仕候付先般御達奉申上右之者共江御裁許被

下出様乍恐御願奉申上候処

役前江諭方被仰付奉畏早速右三人

之者共江御利解之趣申聞相諭申候処納得仕是全

御威光故と難有可奉存候仍之此段御達奉申上候

已上

西十二月

龜崎村

庄屋代

組頭

次右

衛門

柳原

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願ひ）
米三拾石

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願ひ）
米七拾六石

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願ひ）
米百石

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願ひ）
豆貳拾石

乍恐御達申上候御事

当村秋葉宮下持小屋与三郎と
申所江去申六月頃春麦貳升五六合

代貳百五十文二売払之旨盜賊申願候

付早速相訂可申上旨御状之趣承知

奉畏候同人儀頃日上京仕留主

中二付相分兼申候處昨日歸宅仕

相尋申候處右春麦貳升五合二而

代貳百五十文二買取申候旨申出候

尤盜賊之物と八不存相節隣村

三五升ツ、持参買呉候様申参候付

右様二心得買取不調法仕候段

奉恐入候仍之御達奉

申上候 已上

西十二月

龜崎村庄屋

間瀬佐次兵衛

鳴海

御陣屋 御手附御同心様へ

乍恐御請書之事

龜崎村

中出来五丸 次郎船

喜互丸 音三郎船

栄宮丸 与八船

〆

右八今般江戸表御下シ米積出御急キ

二付村々高割被仰付承知奉畏候

然處与八儀此節柱修覆仕

居候付早行御尋会揃申候二付八次郎

音三郎両艘急々深田沖迄為乗廻

御用為相勤可申候仍之御請書奉

差上候 以上

西十二月

右村庄屋

間瀬佐次平

御船手御役所

乍恐御達申上候御事

当村秋葉宮下棒木屋与三郎と申所江

居申六月頃春麦貳升五六合代貳百五十文二

売拂候旨盜賊申願候付早速相訂可

申上旨御状之趣承知奉畏候同人儀

頃日上京仕留主中二付相分兼申候處

昨日歸宅仕相尋申候處右八春麦貳升

五六合二而代貳百五十文二買取申候旨申出候

尤盜賊之物と八不存相節隣村

三五升ツ、持参買呉候様申参り候付右様二

心得買取不調法仕候段奉恐入候仍之

御達奉申上候 以上

西十二月

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願い）
米八拾五石

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願い）
米三十石

乍恐御願旁御達奉申上候御事

献金之儀昨廿二廿三両日之内御上納
可仕候様頃日御觸書之趣奉畏候然處
当年柄小方取立方六ヶ敷何卒今
暫乍恐御日延被下置候様奉願上候右願
之通早速御聞濟被下置候ハ、難有可奉
存候 已上
酉十一月

龜崎村

庄屋

与右衛門

与頭

次右衛門

鳴海

御陣屋

乍恐御歎願奉申上候御事

頃日被仰付候伊之助牢扶持之儀早速可差出
筈之處同人父熊次郎先年受払被仰付候
節、家小家も無御座候者故親類新左衛門懸人と
相起居候処右新左衛門去秋相果後家、人者二而
同人儀及八拾歳二茂老衰仕候二付今日ヲ
暮兼候者二付親類中割合仕候得共何分
当年柄中々不行届先々今日金貳両并二綿入
壹ツ取持差出申候間何卒殘金之義者乍恐
暫之間猶予被下置候様仕度奉願上候右
願之通早速御聞濟被下置候ハ、難有可奉存 已上
酉十一月

龜崎村

庄屋

与右衛門

鳴海

御陣屋

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願い）
米八拾石

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願い）
米五拾石

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願い）
米百石

乍恐御達奉申上候御事

右八渡辺半蔵様御内御勘定場、
右三人之者共御呼出二付今日召連罷出候間
此段御達奉申上候 以上
酉十一月廿七日

龜崎村

間瀬長左衛門

市川源四郎

源八

右八渡辺半蔵様御内御勘定場、

右三人之者共御呼出二付今日召連罷出候間

此段御達奉申上候 以上

酉十一月廿七日

龜崎村庄屋

与右衛門

鳴海

御陣屋

乍恐御請書之事

一人足五人

右八中山道中津川宿行御入用

増人足如斯被仰付承知奉

畏候明廿五日朝出立二而差出可申旨

仍之御請書奉差上候 以上

酉十月廿四日

龜崎村

庄屋

与右衛門

鳴海

御陣屋

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願い）

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願い）

乍恐奉願上候御事

※以下略…米取引の承諾願い

乍恐御達申上候御事

当酉年新米相場去月朝々

晦日迄之相場取調御達可申上旨

御觸書之趣承知奉畏候則左二

十月朔日々十月九日迄

一新米金壹両二付升数五斗八升

十月十日々廿日迄

一同 五斗六升

同廿一々晦日迄

一同 五斗四升

右之通御座候依之御達申上候以上

酉十一月

龜崎村

庄屋

間瀬佐次平

鳴海

御陣屋

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願い）

米三拾石

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願い）

米貳拾五石

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願い）

米三拾石

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願い）

米三拾石

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願い）

米百三拾石

※以下略（米取引の承諾願い）

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願い）

米十五石

外二

吉人 宰領

式人 差添与頭 又蔵

同断 万介

三人 大府村々当村迄

八ヶ村惣代二而当村々

宿割二差立申

〆

右者今般御用二付夜具二昨十日

中津川宿迄相廻候人足二御座候仍之

御達奉申上候 以上

酉十月

龜崎村

庄屋

与右衛門

鳴海

御陣屋

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願ひ）

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願ひ）

乍恐御達申上候御事

一三布布団 百貳拾三枚

一四布

五布 同 百貳拾三枚

夜

一枕 百貳拾三

一尺五寸釜 貳ツ

一打敷盆 三拾枚

一飯椀 七拾人前ツゝ

一汁椀 七拾人前

一わらんじ 貳百拾三足

六枚折

一屏風 三枚半

一黒字輪膳椀 四拾人前 皆具

一皿 百拾人前

猪口 七拾人前

一日光膳 六拾九人前

一平 六拾九人前

一飯次 四拾人前

〆 此人足〆七拾吉人

右者今般

和宮様御下向御用二付夜具初諸色道具共

村々江割当リ前件之通当村分中仙道

中津川宿大井宿迄当月十日十四日兩度二

兩宿江相廻申候仍之此段御達申上候 以上

酉十月

龜崎村

庄屋

新美与右衛門

柳原

御役所

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願ひ）

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願ひ）

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願ひ）

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾願ひ）

知多郡船持惣代

西端村 日比弥兵衛

半田村 久三郎

龜崎村 芳兵衛

北脇村 瀧田金左衛門

去月廿七日私共御呼出之上

公邊御城米積船不足二付御領分船三拾艘程御借

入之趣笠松御陣屋へ御頼入二相成候付積請方

御談被仰付奉畏候付而者右御米之儀者格別

御大切品二而不積馴船々共甚心痛仕候付右御用

之儀者御免被成下置候此段再応奉願上候処御取纏

不被為遊猶又御嚴重二御談被仰付候御儀二付

段々申相候得共迎も積請方御請難申上甚以

奉恐入候御願二者御座候得共全体右御米之儀者

外御米与八違ひ請渡共六ヶ敷江戸表着船二相成

候共先前へ之入船模様二而易二八荷扱二茂

不相成敷敷日数費贈り御米水揚之節とても

一汐瀨取儀二御座候付乗組水主斗二而八不間合無

抛

不馴染者雇入為瀨取候儀重々心配夫而已なら須諸

懸り多分相懸り其上過分升欠杯相立候私二者

弁金上納方差詰り無是非売船取斗上納

仕候分も是迄多分在之慎見聞仕右様之次第二

相成候而者御蔭を以相続仕来候渡世方終二者

親眷属之養二失身立所も無御座場合二も至候半与

実二難渋致申上候段歎願奉申上候共奉方

御威光を以敷敷積方被仰付候共迎も私共

積請候儀者乍恐不行届候間外船雇入為積請

候得共中々御定御運賃二而者絶而積船無御座候間

別段百石目二付加り共金五両位八増金為遣候半而

八

承知不仕右様不相成節者忽船者可及潰段現在二

被存候第一右趣被御行候二付而者近來御国御用

公邊御用材初地儘材共多分在之其上最早

新穀差向御米御積下時節二相成御差支二

可相成程も難斗候間何卒深ク御賢察被成下置

御憐憫を以右御用御赦(力) 免被下置候様船持一

同

只管御歎願奉申上候右

御聞濟被下置候八、難有仕合可奉存候以上

西五月

御船御奉行所

今般御積米二相成候公儀御城米積請方

私船共江色々理解申聞談相合候處何分難渋

之由二而右御願再願御伺奉申上候 以上

廻船惣庄屋

中村権右衛門印

乍恐御達申上候御事

当西年新米相場相立候月並へ

去月晦日迄之相場取調御達可

申上旨御触出之趣承知奉畏候則

左二

八月晦日へ九月九日迄

一新米金壹両二付

升数五斗三升

九月十日へ廿日迄

一同

五斗六升

九月廿一日へ晦日迄

一新米金壹両二付

升数五斗八升

右之通御座候仍之御達申上候以上

西十月

龜崎村

庄屋 与右衛門

鳴海

御陣屋

乍恐奉願上候御事

※以下略(米取引の承諾依頼)

乍恐御達申上候御事

一人足四拾四人

御陣屋

知多郡船持惣代

内海 日比弥兵衛

半田村 久三郎

龜崎村 芳兵衛

北脇村 瀧田金石衛門

乍恐御達申上候御事

去申九月⁶当酉八月迄之内乗捨船難破船

或者死人捨り荷物坏之船之有無共御達可申上候而

御觸書之趣奉畏候依之此二御達申上候

一瀬取船吉艘 龜崎村 留三郎

右八去申十月村前二而破船仕候尤積荷物坏

無御座船頭水主共助命仕候

一諸国廻船三百六拾石入

龜崎村三代吉

七人前

右八当五月遠州御前崎二而破船仕候尤空船

尔て捨荷物坏無御座船頭水主共助命仕候

右之外難破船或者死人捨り荷物坏之船々

無御座候依之御達申上候以上

酉九月

右村庄屋

竹内甚八印

御船手

御役所

乍恐御請旁奉願上候御事

公邊（公儀）

御城米積船不足二付御領分船三拾艘程

御借入之趣笠松御陣屋⁶御頼入二相成

候付私共御呼出之上積受方御請被仰付

候得ども右御米之儀者格別之御大切所二而不格別

私共

甚心痛至リ殊二外御米与八違ひ

請渡共六ヶ敷江戸表着船二相成候共先前⁶之

入船模様二而容易二者荷役二も不相成甚敷

日数費贈り御米水揚之節とても一汐

瀬取儀二御座候付乗組水主二而者不間合

無拋不馴染者雇入為瀬取候儀重々

心配夫而已なら須諸懸り多分相懸り

其上過分升欠坏相立候船二八并金上納

方差詰リ無是非売船取付上納仕候分も

是迄多分在之慎て見聞仕右様之次第二

相成候而者御蔭を以相続仕来候渡世

勞終八親眷属養二者身立所も無御座

場合二も到候半と実二難渋難申上候段

歎願奉申上候達而御威光を以嚴敷

積方被仰付候得共迎も私共積請候儀者

乍恐不行届候間私船雇入為積請候

得共中々御定御運賃二而者絶而積船無

御座候間別段百石目二付私共金五両

位八増金為遣候半而者承知不仕右様

不相成節八忽船々可及潰段現在

被存候第一右之趣被為行候二付而者

近來御国御用公邊御用代初

地主代共多分在之其上最早新穀差向

御米御積下時節二相成御差支二て相成程も

難斗候間何卒深々

御賢察被成下置御慈悲を以右

御用御看免被下置候様私一同只管

御歎願奉申上候右御聞濟被下置

候八、難有仕合可奉存候以上

酉八月

御船御奉行所

附本文奉申上候御城米積請候筈二

相成候節八往々御領分船之脇前之衰微

奉存候乍去御用御濟願之通御聞濟被下置

候八、御上様⁶御積下御用物八御国忍之儀

御違背不平申上候間呉々も御免被下置候様云々

乍恐御請旁奉願上候御事

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の許諾書）

乍恐御達奉申上候御事

今般

御下向二付中仙道江繰出シ諸色之儀

昨五日迄荷作り出来仕候則左二

長持

沓棹

菰包

六拾弍箇

琉球包

四拾弍箇

箱入

拾壹

右之通二御座候指屈先御沙汰次第

指出シ度候此段御伺旁御達申上候 已上

酉十月

亀崎村庄屋

間瀬佐次平印

鳴海

御陣屋

乍恐御歎願奉申上候御事

亀崎村

杣次郎

右之者義去申九月中市原村林右衛門^六

懸リ候出入一件二付御締之上村方江御預ケ

被遊其後御吟味之上厚御利解被成下置

私共於為ても奉恐入候右者大金之儀二御座

候得共杣次郎手先二も不及無余義

家屋敷并纔之諸道具二至迄所持之

品々不残兼而相渡置候二付御吟味之義

追々御日延奉願御理解之趣於内輪

同人親類共江申添趣意立金取纏方

之儀申談候得共何分何連も從來必至

困窮者對二承之諸品高直二付袖迄

杯二罷出候者共斗リ二而銘々自身之

喝命ヲ請兼候次第杣次郎助成筋之

場合二不至付而者同人義去九月中

以來御締り相成居尤外稼筋八不及申二

自身袖迄杯二罷出候義も出来不申

日々妻子袖迄二罷出露命ヲ為繫

候程之義依之村内身内之者共^六追々

救為取置候得共永々之義二而何分得届

兼美以不忍見二就八迎諸親類共

之儀前顯奉申上候通之者共二付外手段^七

無御座就夫今般船手渡世之者共杯ヲ初

聊之薄縁之者共二至迄杣次郎難渋

之次第私共^六精々申添救為取答候様

厚頼入候處此節漸金六兩出来猶当

十二月中限金壹兩来戌三月中限金壹兩

都合金拾兩助成致遣呉候約定仕候間

聊二八御座候得共右金子訴訟入市原村

林右衛門江全ク之趣意立として相渡申度

迎も大金之義二御座候得共一時并金与

申次第二も難及行且御締二相成居候而八

外稼筋出来不申故少々ツゝたりとも

并金可仕手立無御座候間林右衛門於為ても

夫迄深ク相并右二而先之勘并仕呉候様

格別之

御慈悲を以右之次第林右衛門江厚

御理解被成下置御締

御免被仰付被下置候様仕度私共於為て

御慈悲之程御歎願奉申上候右願之通

御聞濟被成下置候八ゝ此末精々世話仕

為相稼仮令少分ツゝ二而も追々二并金可為仕与

奉存候間右願之通

御免被成下置候得者当人八不及申上二私共二

至迄重々冥加至極難有仕合可奉存候 已上

酉八月

右村庄屋代

組頭

代藏

鳴海

此段御達奉申上候以上
酉八月

龜崎村庄屋代

代藏

鳴海

御陣屋

乍恐奉願上候御事

一米五拾五石

右者同郡緒川村専左衛門の買請

船積二而引取申度奉願上候尤専左衛門の

御願申上候筈二御座候間右願之通早

速御聞濟被下置候ハ、難有奉存候 以上

酉九月

龜崎村

米買主

源左衛門

鳴海

御陣屋

右源左衛門御願申上候二付奥印仕候以上

右村庄屋

間瀬佐次平

乍恐御託奉申上候御事

龜崎村

与左衛門姉 多ひ

当西四拾三歳

右之者三州高浜村二而盜之業い多し去ル

七月上旬右村番人相越多ひ儀請帳有

之哉之境尋参り候二付与左衛門并親類ども

頼二仍而既二宗門除二相成居候旨申答

遣シ申候付而八若先方の鳴海御陣屋江

聞合杯二罷出候儀も難斗心配仕候付与左衛門

召連御歎願申上候処去ル六月十四日出

奔い多し帳外二相成候趣御含奉願上候付而八

其節御役所江御願可申上筈之處

全心得違仕御陣屋の御役所江

御引合二相成候付役前御呼出し之上御察当二

相成何共申上様無御座不調法迷惑至極

重々奉恐入候勿論已来之儀ハ急度相心得

右様不調法杯決而仕間敷候間各別之

御慈悲を以今般之儀ハ御赦免被成下置

候様仕度只管奉願上候仍之乍恐熟達

奉申上候 已上

酉九月

龜崎村

庄屋

新美与右衛門

同断

竹内甚八

年寄

伊東孫左衛門

柳原

御役所

乍恐奉願上候御事

一米七拾石

右者同郡緒川村専左衛門の買請船積二而

引取申度奉願上候尤専左衛門の御願

申上候筈二御座候間右願之通早速御聞濟

被下置候ハ、難有奉存候 已上

酉十月

龜崎村

米買主

源左衛門

鳴海

御陣屋

右源左衛門御願申上候二付奥印仕候 已上

十月十一日大口様御改濟

右村庄屋

竹内甚八

乍恐御達奉申上候御事

用助倅

徳太郎

当西拾八歳

右之者当五月十八日夜家出い多し候二付

親類組合之者共所々相尋申候得共

行方相知不申候付其段御支配

御陣屋へ御達申上候處

行衛相知不申候二付今般宗門帳除キ

被仰付候付此段御達申上候 以上

酉八月

新美与右衛門

亀崎村庄屋

間瀬佐次平

柳原

御役所

酉八月八日

亀崎村

代蔵

亀崎村庄屋

間瀬佐次平

鳴海

御陣屋

乍恐奉願上候御事

一岡崎御蔵米百拾四俵

此石数四拾五石六斗 但シ亀崎村忠四郎船積

右八名古屋下納屋山口屋利介方江

売渡申候二付船積二而差送申度

奉願上候尤利介も御支配

御役所江御願申上候筈御座候間

右願之通早速御聞濟被下置候ハ、

難有可奉存候 以上

亀崎村米売主

平三郎

酉八月

鳴海

御陣屋

右平三郎奉願上候二付奥印仕候 以上

右村庄屋

間瀬佐次平

乍恐御達奉申上候御事

一絨縮緬

古帯壹筋

一同絞

三尺帯壹筋

右者去ル十日暑氣強御座候二付居宅

斗明ヶ蚊帳釣リ家内何連も外リ右際二

前頭之品々指置候処翌朝相見へ不申候付而八

同夜被盜取候儀与奉存候依之御達シ

奉申上候 以上

西七月

亀崎村

茂左衛門

鳴海

御陣屋

右茂左衛門御達奉申上候二付奥印仕候 以上

右村庄屋代

組頭

代蔵

乍恐御達奉申上候御事

当村伊東孫左衛門召仕弥助所持之品々

被盜取候境（儀力）孫左衛門も

御勘定所江御達奉申上候二付右写相添

// 又蔵

// 大蔵

庄屋

与右衛門

// 間瀬佐次平

// 竹内甚八

年寄

伊東孫左衛門

// 伊藤孫七郎

// 成田久次郎

鳴海

御陣屋

乍恐御達申上候御事

今般

御表様方窮民共江為御救金三拾七両

錢三百文被下置難有頂戴為仕申候仍之

此段御達申上候 已上

酉五月

亀崎村

庄屋

間瀬佐次平

柳原

御役所

乍恐御達申上候御事

当村氏神祭礼之儀当二月御達

申上候通来ル十六日山車五輛差出

神事相勤可申候依之御達奉

申上候 已上

酉八月

亀崎村

間瀬佐次平

鳴海

御陣屋

式通ツ、

柳原

御役所

式通ツ、

寛

一金三拾両三分

壹ノ百六拾七文

際流入
諸入用ノ

右之通御座候 以上

酉八月

亀崎村

庄屋

御船手

荒井李九郎様

乍恐御達申上候御事

私倅徳太郎儀当五月家出い多し申

候付親類隣家之者共所々相尋申候処

行衛相知連不申去六月御達申上

候處日数三拾日之間尋方被仰付奉

畏所々相尋申候得共行方相知連不申候付

是段御達申上候處又々日数廿四日之間

尋方被仰付候二付所々相尋候得共

行衛更二相分リ不申候仍之村之判取帳

相添御達奉申上候 以上

酉八月

亀崎村

用助

鳴海

御陣屋

右用助御達申上候二付奥印仕候已上

右村庄屋

間瀬佐次平

庄屋代

喜蔵

御中屋敷

寺社御奉行所

乍恐奉願上候御事

龜崎村

才三郎

清次郎

清三郎

右八今般半田村二而御拂二相成候

古米入札二罷出候間宜奉願上候已上

酉四月

右村庄屋

与右衛門

鳴海

御陣屋

乍恐御達申上候御事

同村源四郎儀淨願寺江懸り候金談

出入一件追々御日延奉願上候付奉恐入候二付

当人淨願寺鵜城寺岩井竹貞右懸り

之者京都方呼取候次第を以去月廿二日

私共方当月三日迄御日延奉願上候處御聞

済被仰聞難有奉存候仍之村役人

上京為致今般御用之趣淨願寺申遣

候処一昨二日淨願寺鵜城寺共帰国仕候二付

兼而御尊判御奥書御趣意を以

淨願寺呼出夫々利解および候處一昨

晚歸寺いたし候而已二而未夕次第扱も篤与

心得不申候二付五七日日延御願呉候様申聞其段

源四郎江理解およびし處日延御願之儀八

承知不仕仍之淨願寺方承々御願二罷出候由

右二而者不宜二付人前之者打揃

御役所江罷出候様申渡候處源四郎儀八

早速参上可仕旨申候淨願寺儀参上いたし

兼候趣申出候付私共於為て再三利解申渡

候而も更二不相用役前之者一同甚迷惑

仕候右之次第御座候間乍恐書付を以

御達申上候已上

酉五月

知多郡龜崎村

庄屋

新美与右衛門

御勘定

御奉行所

乍恐御達申上候御事

山々谷間并荒地抔田畑起不行届

松木抔不生立場所二植付候八、村益

可相成右躰之場所吟味仕御達

可申上旨御觸書之趣奉畏候早速

村内穿鑿仕候處右躰之場所

当村二八無御座候仍之此段御達奉

申上候 以上

酉五月

龜崎村

庄屋

与右衛門

鳴海

御陣屋

乍恐御達奉申上候御事

今般格別之

思召を以窮民共江御救与して金三拾七両式匁七分

式厘

被下置冥加至極難有早速困窮之者共

取調耆人二付三百文宛之割符仕

御仁恵之程為申聞前紙之通頂戴為

仕申候仍之此段御達奉申上候 已上

酉五月

龜崎村

与頭

万助

// 次右衛門

ㄨ

右之通二御座候仍之御達申上候以上

知多郡亀崎村

庄屋

.....

文久元酉四月

御勘定所

田村幸右衛門様

加藤運平様

外二

吉通鳴海方同心衆様江御達申候

乍恐御達申上候御事

当三月租師聖人御年忌二付来ル

十二日出立二而上京仕度候依之此段御達

奉申上候以上

酉三月

亀崎村

間瀬兵八

間瀬佐次平

間瀬兵左衛門

吉田太七

伊東孫十郎

鳴海

御陣屋

右間瀬兵八御達申上候付奥印仕候以上

右村庄屋

間瀬佐次平

乍恐奉願上候御事

同郡村木村儀右衛門当酉拾貳歳罷成

候處私儀男子無御座候二付今般懸リ

人二い多し度奉御願候尤重縁之者二付

双方親類村中納得之上何方二少も

故障無御座候間右願之通御聞濟

被成下置候ハ、重々難有仕合二奉存候以上

酉二月

亀崎村

音三郎 印

同村親類惣代

甚兵衛 印

鳴海

御陣屋

右音三郎奉願上候付奥印仕候以上

右村庄屋

与右衛門 印

乍恐御達申上候御事

当三月京都本願寺租師聖人御年忌二付私家内

召連来十二日出立二而上京仕度候尤私留主中

役義江付御用之儀御座候ハ、同役成田久次郎江

相頼置候間同人江被仰付可被下候仍之此段

御達申上候以上

酉三月

亀崎村年寄

伊東孫七郎

柳原

御役所

乍恐御請書之事

知多郡乙川村榊原伊勢守ハ同村与佐右衛門江

相懸リ候金談一条二付今日右与三右衛門

御呼出之上御理解被仰渡当人二於いても

奉恐入候付而八金筋之儀も承伏仕候間一度

帰村之上内熟仕度旨達而相願候二付何卒

来ル十日迄御日延被成下置候様仕度此段

奉願上候尤右日限二右之境召連罷出

奉申上候間右願之通

御聞濟被成下置候ハ、難有仕合奉存候已上

酉三月

亀崎村

二月三日 ^〆 三月廿三日迄	〆	五分八リ	高廿二石之内白米百文二
一白米八斗三升式合	隔日四拾人江かゆ施申候分	而壹升壳尻抱分	
申九月		一白米壹石五升五合	隔日五十一人江かゆ施申
一金四両三朱	申十月	候分	
五分八リ	高廿二石之内	〆	
白米百文二付壹升壳尻抱	三匁七分	高三十石之内白米百文二	
付壹升壳尻抱之分	付壹升壳尻抱之分	酉二月三日 ^〆 三月廿三日迄	権七
〆	酉二月三日 ^〆 三月廿三日迄	一白米壹石三斗八升	隔日六十六人江かゆ施申
候分	候分	隔日六十六人江かゆ施申	候分
申十一月	間瀬兵左衛門	〆	
一白米貳石四斗	窮民共江かゆ之分	酉二月三日 ^〆 三月廿三日迄	利三郎
申十月		間瀬兵八	
一金八両貳分	酉二月三日 ^〆 三月廿三日迄	一白米壹石貳斗七升	隔日六拾壹人江かゆ施申
三匁七分	高三十石之内白米百文二	候分	分
付壹升壳尻抱之分		〆	
申十月	間瀬佐次平	十三郎	
一金八両貳分	同断	申九月	平三郎
三匁七分	高三十石之内白米百文二	候分	
付壹升壳尻抱之分	候分	一白米壹石七升	隔日五十一人江かゆ施申
酉二月三日 ^〆 三月廿三日迄	昇平	一金四両三朱	高廿二石之内白米百文二
一白米壹石五斗四升	隔日七十四人江かゆ施申	五分八リ	付壹升壳尻抱分
候分	申九月	一白米壹石〇六升	隔日五十一人江かゆ施申
一金四両三朱	候分	候分	

御達奉申上候以上

龜崎村

庄屋

.....

文久元西四月

御勘定所

田村幸右衛門様

加藤運平様

外二

吉通鳴海方同心中へ御達申候

銘々

自分宅二而施シ候分

乍恐御尋二付御達申上候御事

成田久次郎

申十二月廿四日

一白米六石四斗八升

海潮院二而

同

一餅白米六石式斗三升 難決者へ遣申候分

同十二月廿六日〆廿八日迄

一白米八斗七升追願二付 遣申候分

同

一餅白米九斗五合

右同断

酉二月三日〆三月廿三日迄

一白米壹石八斗九升

隔日粥九拾人江振舞候分

〆

伊東孫左衛門

申九月

一金八両壹分

壹匁五分九リ 白米百文二付壹升売へ尻抱

十二月

一白米壹石式斗

粥二而遣入

同廿六日

一同五石四斗五升

小浜大浜 人別江遣入

酉二月三日〆三月廿四日迄

一同式石式斗

振舞候分 百五人

一同式石四斗

新居人別 非人江かゆ遣申分

一金五両

乙川村窮民江手当遣申候

〆

伊東孫七郎

申九月

一金四両三分

五分八リ

白米百文二壹升売

尻抱分

高廿二石之内

同十二月

一白米壹石六斗

粥二而 遣申候分

酉二月三日〆三月廿三日迄

一同壹石五斗

隔日粥七十五人江振舞候分

酉二月

一壹石八升

他所非人江もちかゆ遣候分

〆

間瀬半一郎

申十二月十日

一白米七石四斗

村方五町内江施シ候分

同十二月大晦日

一同八斗

別段施シ候分

酉二月三日〆三月廿三日迄

一同壹石

隔日四十八人江かゆ振舞候分

吉田左七

申十二月

一金四両式分式匁

貳百文

白米壹升百壹文

尻抱分

十二月廿五日

一錢七拾九〆文

村方五町内江施遣申分

〆白米壹石四斗式升

隔日六拾八人江かゆ施申候

分

七郎兵衛

酉正月〆遣候

一白米八石五斗

村方窮民共江施シ

被下置候ハ、難有可奉存候以上

酉四月

龜崎村買主

重吉

鳴海

御陣屋

右重吉御願申上候二付奥印仕候以上

右村庄屋

間瀬佐次平

覚

未年下用

一金百五両壹分

拾四匁式分九リ

但シ高壹石二付

八匁壹分式リ 相当申候

申年下用

一金百貳拾四両

拾匁八分七リ

但シ高壹石二付

九匁五分六リ 相当申候

差引

金拾五両三分

拾匁三分

去未年ヨリ相増申候

右書上申通相違無御座候以上

文久元酉四月 知多郡亀崎村

庄屋

与右衛門

同

竹内甚八

御勘定所

田村幸右衛門様

加藤運平様

扣

難渋者手当書上帳

此分

村方会所江持寄施シ候分

難渋者人数

惣メ千三百四人

内貳百四十八人

極々難渋者

壹人二付

三升五合ツ、

此米八石六斗八升

六百八拾四人

極難

壹人二付

三升五合ツ、

此米拾七石壹斗

三百六十八人

難渋

壹人二付

壹升貳合ツ、

此白米四石四斗壹升六合

三口メ三拾石壹斗九升六合

乍恐御尋二付

覚 御達申上候御事

一白米三石五斗

伊東孫左衛門

一同三石

成田久次郎

一同貳石五斗

七郎兵衛

一同貳石五斗

竹内甚八

一白米貳石七斗

伊東孫七郎

一同貳石五斗

間瀬兵左衛門

一同三石

間瀬佐次平

一同貳石

間瀬兵八

一同貳石

昇平

一同壹石五斗

吉田太七

一同貳石

間瀬半一郎

一同貳石

平三郎

一同壹石五斗

若

権七

メ三拾石貳斗

右者村方会所江持寄施シ申候仍之

吉田太七

間瀬兵八

鳴海

御陣屋

右間瀬兵左衛門御達申上候付奥印仕候以上

右村庄屋

与右衛門

乍恐御達奉申上候御事

当三月租師聖人御年忌二付家内

召連来ル十二日出立上京仕度候依之

此段御達奉申上候以上

酉三月

龜崎村

鳴海

御陣屋

乍恐奉願上候御事

先般乙川村榊原伊勢守方御訟訴奉申上候

金談一条之儀当月十日迄内熟可仕旨御達

申上置帰村仕早速伊勢守江段々相頼則

金三両壹分式朱錢百拾八文出金可仕筈二而内

熟仕候然ル處私儀當時内輪必至困窮

仕候付金子才寛方早行出来兼仍之

当月晦日迄日延之儀相頼申候処此節

一時出金不仕而八承知も無之趣申聞候付親類一

同甚迷惑仕候付而八恐多御頼二八御座候得共

何卒右日限迄延日い多し呉候様被為懸声

被下置候様仕度乍恐奉願上候右願之通早速

御聞濟被下置候八、重々難有仕合可奉存候以上

酉三月

龜崎村

与三右衛門

寺社方

御役所

右与三右衛門奉願上候通相違無之候付奥印仕候以

上

右村庄屋

間瀬佐次平印

乍恐御達旁奉願上候御事

一諸国廻船四百八拾石入壹艘 龜崎村 長次郎

右者今般解船仕候二付焼印御札返納仕候

然処御切紙并御證文之儀去冬村方地先二而

難事逢候節箱江入置候儘流失為致

手を盡し相尋候得共更二相分り不申

候段迷惑至極奉恐入候次第二御座候

得共右無調法之段御免被成下置何卒

御帳面御除被成下置候様奉願上候右

願之通御聞濟被成下置候八、重々難有

仕合可奉存候以上

龜崎村

長次郎

酉四月

御船手

御役所

右長次郎奉願上候通相違無御座付願之通御聞濟

被成下置候様於私も奉願上候以上

右村庄屋

竹内甚八

※一文略（前に出た文と同じ）

乍恐奉願上候御事

一大豆五拾五俵 但シ五斗入

右八名古屋船入町加藤屋藤助方買請

船積二而今日着船仕候間何卒早速

御見分被下置候様奉願上尤藤助方も

御願申上候筈二御座候間右願之通御聞濟

間瀬佐次平

与頭 次右衛門

同 万助

鳴海

御陣屋

成田久次郎

酉四月

柳原

御役所

弥五郎ノきと 甚六
忠三郎 後家 千之助

乍恐御断奉申上候御事

今般干海老急御入用二付尺位之折詰

壹箱外二袋入式袋二而代三百文分差出

可申様被仰付奉畏早速穿鑿仕候處

漸式升入壹箱調申候付兎も角も箱詰二

仕差出申候何分時節後連(遅)候品二而調兼

何共奉恐入候仍之御断旁奉願上候以上

酉四月

龜崎村

庄屋 新美与右衛門

柳原

御役所

乍恐御達申上候御事

今般格別之

思召を以窮民共江御救与して金三拾兩

被下置冥加至極難有奉存早速困

窮之者共取調白米二而割符仕

御仁慮之程為申聞別紙之通四度二

頂戴為仕申候仍之此段御達奉

申上候以上

龜崎村阿

与頭 万助

同 次右衛門

同 又蔵

同 大蔵

庄屋 新美与右衛門

同 間瀬佐次平

同 竹内甚八

年寄 伊藤孫左衛門

伊藤孫七郎

御地頭様へ

御救米頂戴人前連判帳

三合 清太郎 後家

三合 庄助 後家

中略

三合 池下 幸左衛門

米ノ式石〇六升三合

家数ノ式百九十軒

金壹兩二付白米三斗式升成

金三拾兩分九石六斗

内 式石六升三合 二月廿二日

式石六升三合 同廿五日

式石六升三合 同廿八日

三石式斗式升三合 四月二日

壹軒二付四合増

ノ九石四斗一升式合

外壹斗八升八合 枳切レ

ノ九石六斗也

四月十九日追知分 与左衛門ノたい

乍恐御達申上候御事

東本願寺租師聖人御年廻二付先月

十二日出立二而上京仕候處当月十五日

帰国仕候依之御達奉申上候以上

酉四月

龜崎村

間瀬兵左衛門

評之上氏神慮窺候来ル八月与
申御鬪二付村中治定仕候仍之此段
御達奉申上候以上
酉二月

龜崎村
庄屋

与右衛門

柳原

御役所

鳴海

御陣屋

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾依頼）

乍恐奉願上候御事

一 当村濱亥新田御普請之儀早春
取懸り申候得共何分二も汐干方悪敷
一日之内聊之間泥土持方出来不仕
迷惑至極仕候右之仕合二付御普請
出来方不事延引仕奉恐入候得共
前頭奉申上候通汐引方悪敷
海泥尺々處取方出来不仕

乍併格別出精取斗ひ申上付当月
中二者皆出来可仕候間乍恐今般
御見分之儀何卒御差延被成下
置候様奉願上候右願之通御聞濟
被成下候ハ、難有仕合可奉存候以上
酉二月

庄屋

文久元年

酉三月

難渋者人数書上帳

知多郡龜崎村

乍恐御尋二付御達申上候御事

当年栖江付村々助情を請相潰
罷在候程之難渋者名前家内人
数共委取調来ル廿日迄二可申出旨被
仰渡承知奉畏候則左二申上候
中略
一 家内四人 太郎兵衛
惣々千百九十五人
々千三百四人
さし引々百〇九人者名前吟味之事

右之通御座候 仍之御達奉申上候以上
酉三月

龜崎村

庄屋 間瀬佐次平

鳴海

御陣屋

乍恐御達奉申上候御事

当村窮民共御尋二付過日書上御達
申上候處余り多人数二付今一応篤与
取調御達可申上旨被仰付奉畏候
則左之通
窮民
惣人数千三百四人
内訳
式百四拾八人 餓死二茂可及程之者
六百八拾四人 施物貰ひ受漸相凌候程之者
三百六拾八人 難渋者

右之通御座候仍之御達申上候以上
酉三月

龜崎村

庄屋

竹内甚八
与右衛門

御断奉申上候

右之通今般御下々被下置難有

頂戴仕候以上

龜崎村

庄屋 与右衛門

酉二月

鳴海

御陣屋

長尾村 岩吉

相手方 龜崎村 与三右衛門

酉二月

鳴海

御陣屋

右之通吉右衛門申上候通相違無御座候

双方連印を以御達奉申上候以上

龜崎村庄屋

与右衛門

長尾村庄屋

文右衛門

御陣屋

右源左衛門奉願上候付奥印仕候以上

十五日着石改済

右村庄屋

間瀬佐次平

乍恐御達奉申上候御事
一当村組頭仙助儀差支茂御座候付
万助与改名仕候仍之御達奉
申上候已上

龜崎村庄屋

間瀬佐次平

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾依頼）

乍恐済口書御達奉申上候御事

私儀長尾村岩吉龜崎村与三右衛門江相懸リ

申候金類出入二付内輪熟済被仰付

追々申談合熟済方左二

一金四両貳朱ト 錢貳百八拾八文 借用ノ金

内八拾三匁四分疋リ 岩吉 出金之事

同百六拾六匁八分貳リ 与三右衛門 出金之事

右之通当晦日限り皆済可仕候筈

熟談相整申候 偏二

御上様之御仰上と難有仕合奉存候以上

成岩村 御役人吉右衛門

乍恐奉願上候御事

一米百弍石

鴉麦三石

右八同郡村木村惣兵衛ノ買請

船積二而引取申度奉願上候尤

惣兵衛ノ御願申上候筈二御座候間

右願之通早速御聞済被下置候ハ、

難有可奉存候以上

龜崎村

米買主 源左衛門

酉二月

鳴海

柳原

御役所

乍恐御達奉申上候御事

当村氏神祭礼之儀例年来ル三月十六日

神事相勤仕来申候處近年不候

引続キ其上米穀初諸品高直二而何共

難渋至極仕候付而八窮民共江頭分之者ノ

去申年已来引続キ度々施物差遣シ

殊二当正月ノ隔日二粥施し申候程之次第二而

必至難渋之時節付而者祭礼之儀集

御聞濟被成下置候様私共於為ても
奉願上候以上

酉正月

龜崎村

庄屋 与右衛門

組頭 治右衛門

鳴海

御陣屋

無御座候二付夫々雇船尋候間成丈
早行深田沖々乗廻之御用相勤可申候
依之御請書奉申上候以上

酉正月

龜崎村庄屋

与右衛門

御船手

御役所

乍恐御達申上候御事

油桐有之候ハ、木数并二油桐之実持合

候者有之候ハ、員数杯をも書付二取

調御達可申上旨被仰付奉畏早速村内

穿鑿仕候得共右木品并桐木実持

合候者当村二者無御座候仍之御達申上候已上

酉正月

鳴海

御陣屋

乍恐御請書奉申上候御事

江戸御下之御米御材木御宜干處積

船払底二付今般村々へ高割被

仰奉畏候然ル処當節居合船

乍恐御請旁奉願上候御事

当村嘉七儀去ル已年木綿背干売仕御吟味

之上右代金御取揚被仰渡恐入奉畏候然ル処

同人儀内輪必至極難渋者二付一時上納之儀

不行届追々御頼申上候得共御取揚不相成

再三嚴敷被仰渡最早所持之諸道具杯

至迄為売払并二親類よりもて付金丈ケ

御借金為仕都合金式両式分今般上納

仕候残金之儀者当人此上成立次第追々

上納可仕候旨被仰渡奉畏候依之御請

旁奉御願上候以上

龜崎村

喜七

酉正月

横須賀

御陣屋

奥印

庄屋

与右衛門

乍恐奉願上候御事

一米六拾三石

一春麦七石

〆七十石

右者同郡横根村金左衛門方〆買請

船積二田引取申度奉願上候尤金左衛門〆も

御願申上候筈二御座候間右願之通早速

御聞濟被成下置候ハ、難有仕合可奉存候以上

龜崎村

米買主 助八

酉二月

鳴海

御陣屋

右助八奉願上候付奥印仕候以上

二月七日着発改儀御頼濟 与右衛門

覚

一六百文

日乃出印酒八樽

緒川村迄運賃

但シ御急干御用二付増水主

仕候間少々運賃増遣シ申候此段

表紙

万延二年

酉年願達留

正月 龜崎村

本文

乍恐御達奉申上候御事

一日の出印酒八樽 当村平三郎 製

右者今日昼後迄二必着い多し候様

可取斗旨被仰付承知奉畏候

則今朝卯中刻緒川村迄船積

二而差送申候間同村の八馬附二而指立

方取斗候様引合申候依之此段

御達申上候以上

龜崎村庄屋 与右衛門

酉正月元日

鳴海

御陣屋

乍恐奉願上候御事

高百五石之内

一米

右八同郡横根村金左衛門方の買請

船積二而引取申度奉願上候 尤

金左衛門の御願申上候筈二御座候間

右願之通早速御聞濟被下置候ハ、

難有可奉存候以上

龜崎村

米買主 清次郎

酉正月

鳴海

御陣屋

右清次郎奉願上候付奥印仕候以上

右村庄屋 与右衛門

乍恐奉願上候御事

一米拾五石

右者同郡大府村儀七方の買請

船積二而引取申度奉願上候 尤

儀七の御願申上候筈二御座候間

右願之通早速御聞濟被下置候ハ、

難有可奉存候以上

龜崎村

米買主 平三郎

酉正月

鳴海

御陣屋

右平三郎奉願上候付奥印仕候以上

右村庄屋 与右衛門

乍恐奉願上候御事

※以下略（米取引の承諾依頼）

乍恐御達旁奉願上候御事

当地濱亥新田御普請所之儀有脇村

丑新田堤横手堤海風留去九月の

当十一月下旬迄二都合五度海風留仕

漸十二月下旬迄二九步通出来仕候得共

幸堤之儀者追々横手堤海風留

牧底之儀二而法外之金子入用二相成

地主共於為ても甚々難渋仕未々

幸堤之儀者式步通程ならて八出来不仕

何分汐備方存外高汐二而泥乗取方

六ヶ敷山土二而八迎も持堪不申令替

緩和相從不申候半而八御普請出来方

行届兼甚以奉恐入候得共何卒二月

下旬迄之皆出来二御日延奉願上候様

地主共頼出申候間右願之通乍恐

た旨の報告。

- ・御船手奉行の要望に対し、乗捨て船などの調査報告。
- ・御船奉行所に対し、藩米の江戸送りについて、手間賃の値上げ依頼書。
- ・鳴海陣屋の要望に従い、新米相場の報告。
- ・鳴海陣屋に対し、皇女和宮下向の人足を送った内容の報告。
- ・同、人足が必要とする炊事道具・寝具等と、総勢七拾人であることの報告。
- ・鳴海陣屋に対し、村の罪人の牢扶持納付の報告。
- ・鳴海陣屋に対し、藩家老渡邊半蔵より呼び出しのあった者を連れて行った旨の報告。
- ・鳴海陣屋に対し、窃盗品の春麦と知らずに購入した者が村にいる旨の報告。
- ・鳴海陣屋に対し、三州西尾での米切手の問題を内済した旨の報告。
- ・御船手役所に対し、藩米の移送につき報告。

以下、翻刻文を掲載する。

- ・ 鳴海陣屋に対し、亥新田の普請の日延の願上書。
- ・ 鳴海陣屋に対し、昨年凶作につき、困窮者の報告。
- ・ 鳴海陣屋に対し、昨年凶作につき、困窮者を分類（餓死の恐れ、施せば耐えられる、難渋者）した数の報告。
- ・ 柳原御役所に対し、窮民お救い金三十両を白米にて配給した旨の報告。
- ・ 柳原御役所に対し、個人別のお救い米の配給高を報告。
- ・ 柳原御役所からの急な海老の注文に対応した旨の報告。
- ・ 鳴海陣屋に対し、東本願寺の聖人御年廻につき、上京したい旨の嘆願書。
- ・ 御船手奉行所に対し、諸国廻船一艘を解体する旨の報告。
- ・ 御勘定所に対し、前年前々の下用金の報告。
- ・ 鳴海陣屋に対し、前年の凶作による難渋者の報告。
- ・ 勘定所に対し、難渋者に対するお救い米を会所に供出した村人のリストの報告。
- ・ 勘定所に対し、難渋者に対するお救い米を自宅で供出した者のリストの報告。
- ・ 鳴海陣屋に対し、藩のお救い金を困窮者一人に対し三百文の割で渡した旨の報告。
- ・ 鳴海陣屋、柳原御役所に対し、本年の氏神祭礼期日の報告。
- ・ 鳴海陣屋に対し、行方不明者の報告。
- ・ 鳴海陣屋に対し、出奔人の報告。
- ・ 鳴海陣屋に対し、窃盗事件の報告。
- ・ 鳴海陣屋に対し、窃盗事件の報告。
- ・ 柳原御役所に対し、亀崎村から出奔した者が窃盗を働いた件に関する報告。
- ・ 鳴海陣屋に対し、皇女和宮下向の人足として出発する荷送りの準備ができ

亀崎文書「酉年願達留」の記録

半田市立博物館専門員 柴田 邦彦

半田市立博物館所蔵の亀崎文書資料 Z61 冊1「酉年願達留」を翻刻し、亀崎村が万延二年（文久元年）（1861年）に御役所に提出した願達しの記録をまとめた。

その概略は、以下のとおり様々な内容となっている。

- ・ 鳴海陣屋（一部柳原御役所、横須賀陣屋）に対する報告、依頼文。
- ・ 鳴海陣屋に対し、お酒の注文に応じたとの連絡。
- ・ 鳴海陣屋に対し、米の取引許諾願。
- ・ 鳴海陣屋に対し、浜新田の普請の期日を延期してほしい旨の嘆願書。
- ・ 鳴海陣屋に対し、桐油採取用木の本数報告の要望に対し、木も桐の実も持っている者がいない旨の報告。
- ・ 鳴海陣屋に対し、藩米、藩所有の材木を高割りにて江戸へ運ぶ指示に対し、船が無く対応できない旨の報告。
- ・ 鳴海陣屋に対し、木綿の不正売買につき、罰金を上納する旨の報告。
- ・ 鳴海陣屋に対し、お金の問題（事件）があったが、内済した旨の報告。
- ・ 鳴海陣屋に対し、組頭仙助の名前を「万助」に変更の報告。
- ・ 鳴海陣屋に対し、神事を八月に延期する旨の報告。

目次

紀
要

亀崎文書「酉年願達留」の記録

.....

半田市立博物館専門員

柴田邦彦

.....

2

半田市立博物館 年報・紀要
令和4年度

発行日	令和6年3月
編集発行	半田市立博物館 半田市桐ヶ丘 4-209-1
印刷	半田中央印刷株式会社

